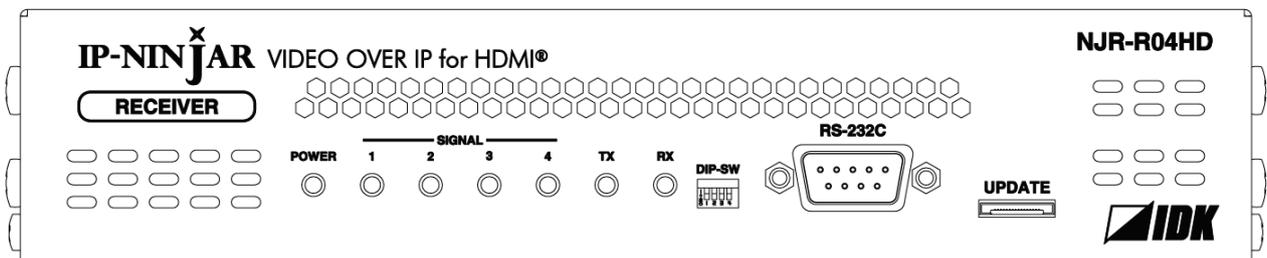
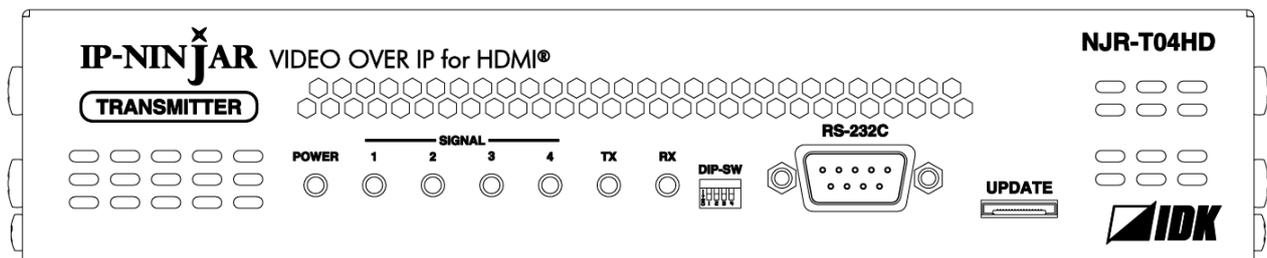


HDMI 4 系統 AV over IP

NJR-T04HD / NJR-R04HD

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.6.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- Blu-ray Disc (ブルーレイディスク)、Blu-ray (ブルーレイ) は Blu-ray Disc Association の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- コネクションリセットと IP-NINJAR (アイ・ピー・ニンジャー) は、株式会社アイ・ディ・ケイの登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、「ユーザズガイド」と「コマンドガイド (本書)」から構成され、分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。

なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

目次

1	本書の読み方.....	5
2	本書の概要.....	5
3	通信の設定と仕様.....	6
3.1	RS-232C 通信.....	6
3.1.1	RS-232C 通信のための設定手順.....	6
3.1.2	RS-232C コネクタ仕様.....	7
3.1.3	RS-232C 通信仕様.....	7
3.2	LAN 通信.....	8
3.2.1	LAN 通信のための設定手順.....	8
3.2.2	LAN コネクタ仕様.....	10
3.2.3	LAN 通信仕様.....	10
3.3	NJR-CTB からの外部制御.....	11
3.4	LAN ケーブルの接続について.....	12
4	コマンド.....	13
4.1	コマンド概要.....	13
4.2	コマンド一覧.....	14
4.3	コマンドの使用制限.....	17
4.4	パラメータの入力フォーマット.....	20
4.5	動作モードごとのコマンド使用制限.....	22
4.6	コマンド詳細.....	26
4.6.1	エラーステータス.....	26
4.6.2	画角設定.....	27
4.6.3	画質設定.....	50
4.6.4	入力設定.....	57
4.6.5	出力設定.....	59
4.6.6	音声設定.....	69
4.6.7	EDID 設定.....	75
4.6.8	テロップ設定.....	82
4.6.9	RS-232C 設定.....	88
4.6.10	LAN 設定.....	89
4.6.11	その他設定.....	91
4.6.12	インフォメーション.....	93

1 本書の読み方

本書は、IP-NINJAR 製品である NJR-T04HD (送信器) と NJR-R04HD (受信器) について説明した取扱説明書です。

本書では、NJR-T04HD と NJR-R04HD の説明と、NJR-T04HD と NJR-R04HD を制御するための外部機器からの基本操作について説明します。また、システムの構築において、他の IP-NINJAR 製品と接続するときは、該当する製品の取扱説明書をご参照ください。

2 本書の概要

本書は、RS-232C 通信または LAN 通信を使って、コマンドにより NJR-T04HD / NJR-R04HD を制御する方法について説明します。

- 通信コマンドを使ってできること
 - ・ 画角や画質の設定
 - ・ 入出力の設定
 - ・ 音声の設定
 - ・ EDID の設定
 - ・ インフォメーションの表示など

3 通信の設定と仕様

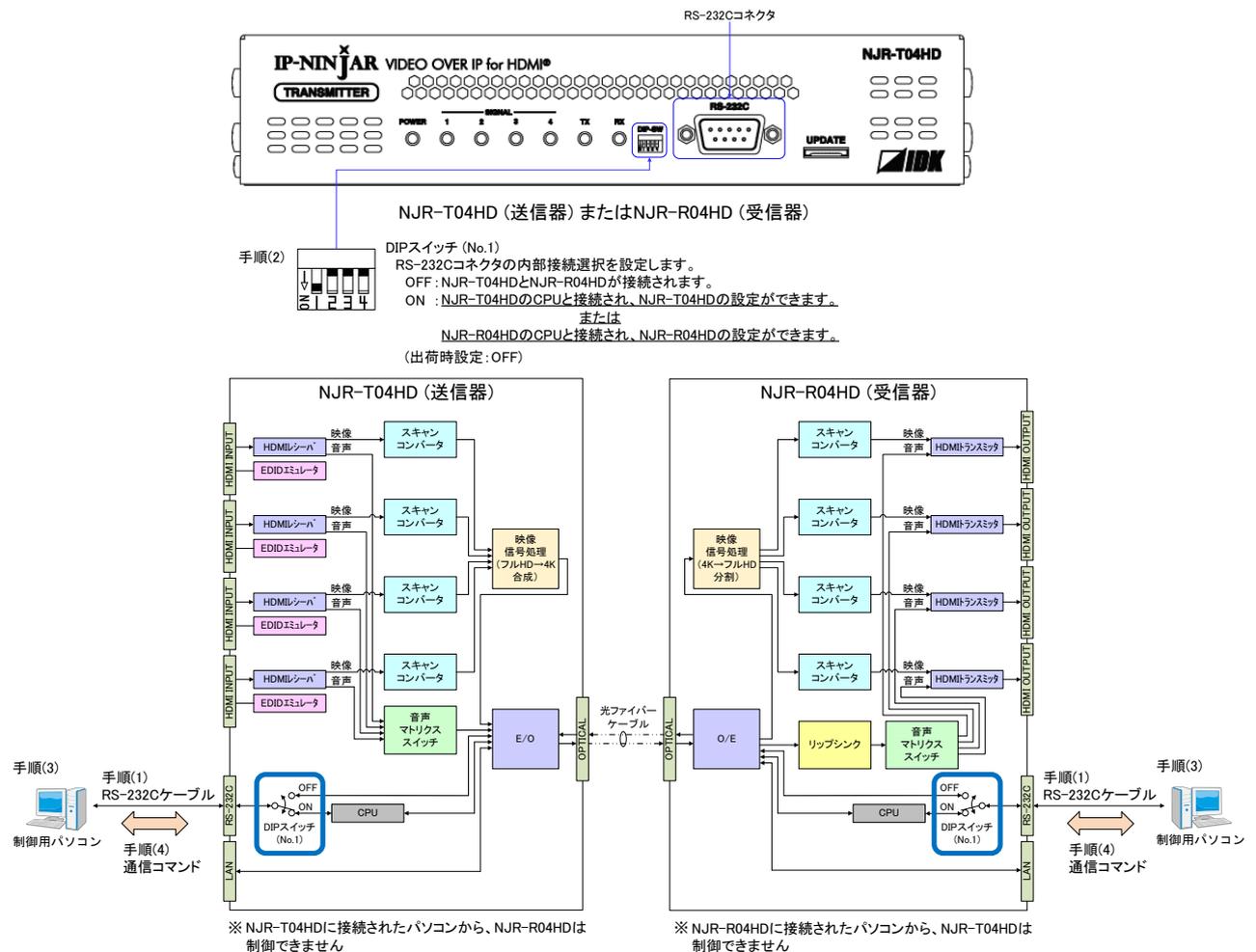
3.1 RS-232C 通信

NJR-T04HD と NJR-R04HD（以下、「本機」とする）は RS-232C 通信による外部制御が可能です。パソコンなどの制御機器と本機を RS-232C ケーブルで接続し、通信コマンドを使って、本機の制御や状態の取得をしてください。

3.1.1 RS-232C 通信のための設定手順

次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との RS-232C 通信設定をしてください。

- 手順(1) 制御機器と本機を RS-232C ケーブルで接続します。
- 手順(2) 本機の DIP スイッチ (No.1) を “ON” に設定します。
- 手順(3) 制御機器に[表 3.1] RS-232C 通信仕様と同じ設定をします。
- 手順(4) 制御機器から本機に通信コマンドを送信します。
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態の取得ができます。



[図 3.1] RS-232C 通信の設定手順

3.1.2 RS-232C コネクタ仕様

RS-232C コネクタのピン配列は次のとおりです。



[図 3.2] RS-232C コネクタ仕様

3.1.3 RS-232C 通信仕様

RS-232C 通信仕様は次のとおりです。

[表 3.1] RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	9600 [bps]
データビット長	8 [bit]
パリティチェック	なし
ストップビット	1 [bit]
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
通信方式	全二重

3.2 LAN 通信

本機は LAN 通信による外部制御が可能です。パソコンなどの制御機器と本機を LAN ケーブルで接続し、IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) を使って、本機の制御や状態の取得をしてください。

IP-NINJAR Configurator からの操作は、別冊の「IP-NINJAR Configurator 取扱説明書」をご覧ください。

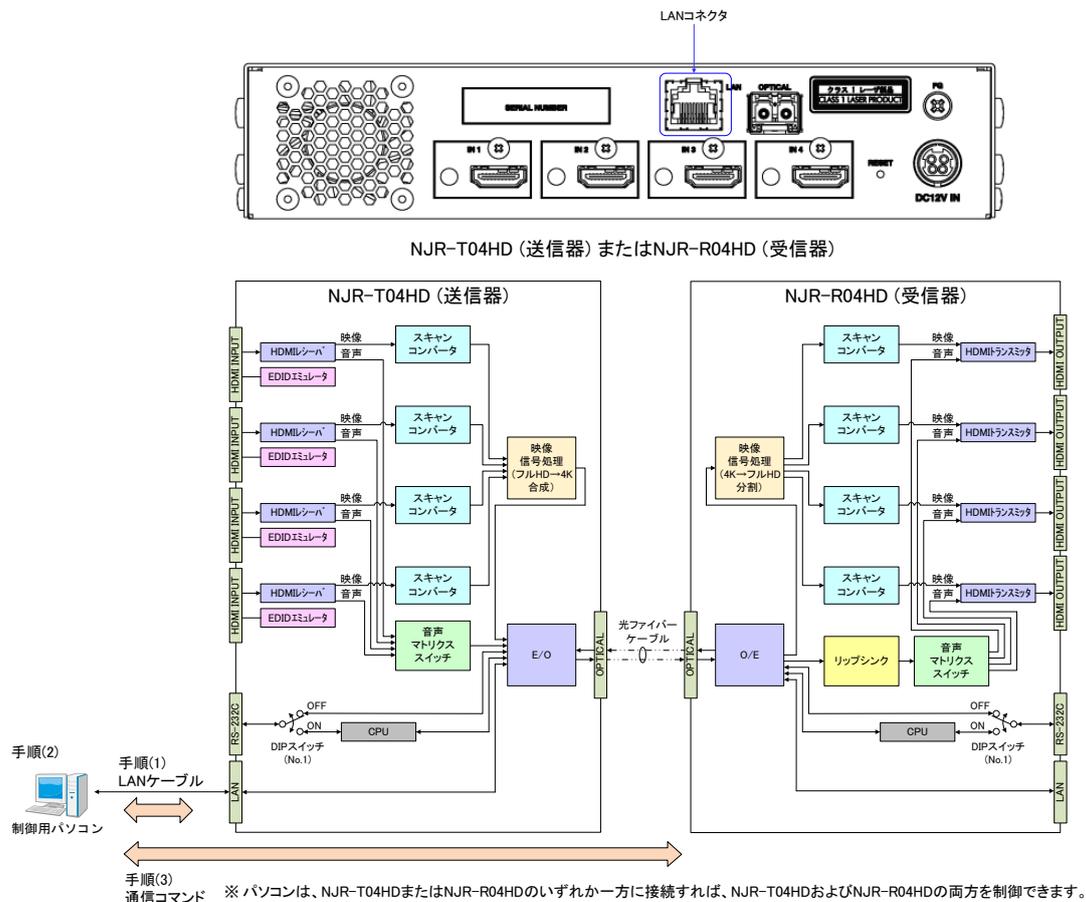
IP-NINJAR Configurator の入手方法については、弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

【注意】 本機を LAN 通信により制御する場合、ターミナルソフトは使用できません。

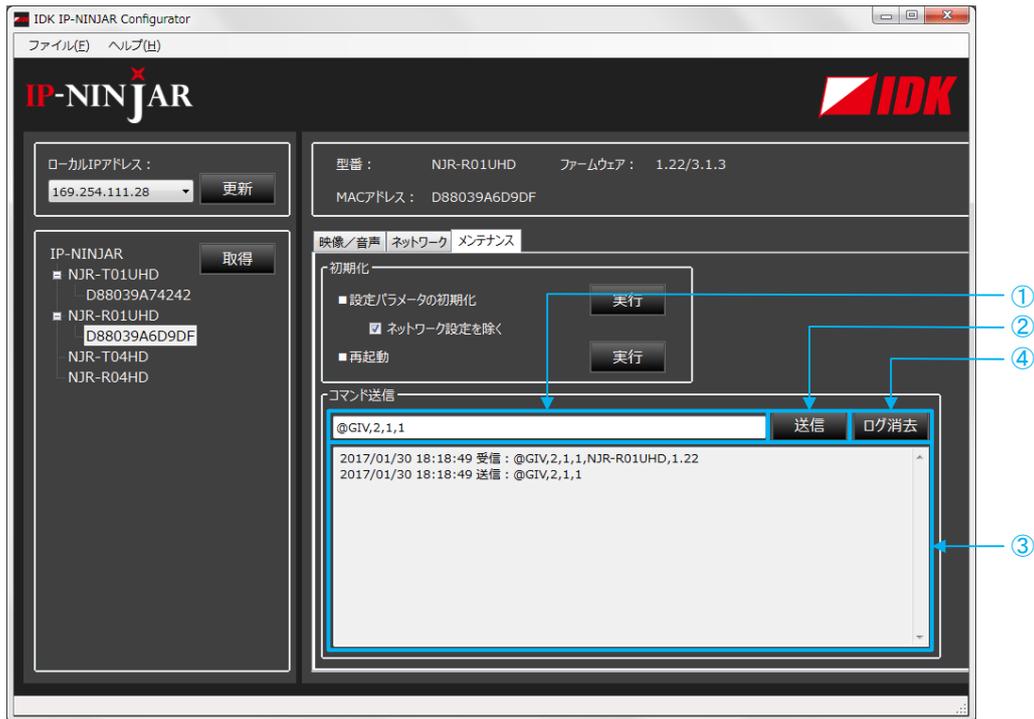
3.2.1 LAN 通信のための設定手順

次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との LAN 通信設定をしてください。

- 手順(1) 制御機器と本機を LAN ケーブルで接続します。
- 手順(2) 制御機器で IP-NINJAR Configurator を起動します。
- 手順(3) IP-NINJAR Configurator のメンテナンス画面からコマンドを入力し、通信コマンドを送信します。
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態の取得ができます。



[図 3.3] LAN 通信の設定手順



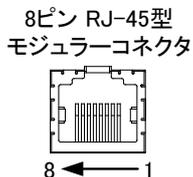
- ① 送信するコマンドを入力します。
- ② NJR-T04HDまたはNJR-R04HDIにコマンドを送信します。
- ③ コマンド送受信のログを表示します。
- ④ コマンド送受信のログを消去します。

[図 3.4] メンテナンス画面からのコマンド入力

3.2.2 LAN コネクタ仕様

LAN コネクタのピン配列は次のとおりです。

ストレートケーブル / クロスケーブルの判別・切換を自動的に行なう Auto MDI / MDI-X に対応していますので、本機とパソコンまたはハブなどとの接続のとき、意識せずに接続することが可能です。



ピン番号	信号名			
	MDI		MDI-X	
	1000BASE-T	100BASE-TX/10BASE-T	1000BASE-T	100BASE-TX/10BASE-T
1	TRX+ (送受信データ+)	TX+ (送信データ+)	TRX+ (送受信データ+)	RX+ (受信データ+)
2	TRX- (送受信データ-)	TX- (送信データ-)	TRX- (送受信データ-)	RX- (受信データ-)
3	TRX+ (送受信データ+)	RX+ (受信データ+)	TRX+ (送受信データ+)	TX+ (送信データ+)
4	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)
5	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)
6	TRX- (送受信データ-)	RX- (受信データ-)	TRX- (送受信データ-)	TX- (送信データ-)
7	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)	TRX+ (送受信データ+)	N.C. (未使用)
8	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)	TRX- (送受信データ-)	N.C. (未使用)

※N.C. : No Connection

[図 3.5] LAN コネクタ仕様

3.2.3 LAN 通信仕様

LAN 通信仕様は次のとおりです。

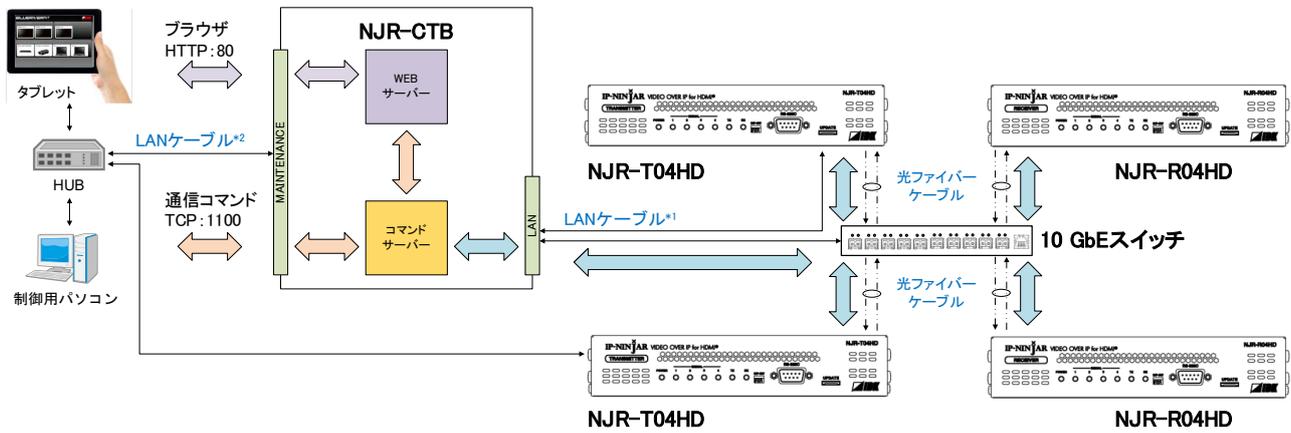
[表 3.2] LAN 通信仕様

物理層	10Base-T (IEEE802.3i) / 100Base-TX (IEEE802.3u) / 1000Base-T (IEEE802.3ab)
ネットワーク層	ARP、IP、ICMP
トランスポート層	UDP

3.3 NJR-CTB からの外部制御

本機は NJR-CTB からの外部制御が可能です。パソコンなどの制御機器と NJR-CTB を LAN ケーブルで接続し、通信コマンドを使って、本機の制御や状態の取得をしてください。

NJR-CTB からの外部制御については、別冊の「NJR-CTB 取扱説明書 <コマンドガイド>」をご覧ください。



※1 NJR-CTBのLANコネクタは、NJR-T04HD/NJR-R04HDのLANコネクタまたは10 GbEスイッチのいずれかに接続します。

※2 制御用パソコンは、NJR-CTBのMAINTENANCEコネクタまたはNJR-T04HD/NJR-R04HDのLANコネクタのいずれかに接続します。

[図 3.6] NJR-CTB との接続

3.4 LAN ケーブルの接続について

NJR-T04HD、NJR-R04HD および NJR-CTB に LAN ケーブルを接続するときは、ループ (NJR-T04HD、NJR-R04HD および NJR-CTB と LAN ケーブルで輪をつくること) をしないようにご注意ください。

NJR-T04HD と NJR-R04HD は状態通知の目的で、定期的にブロードキャスト (一斉配信) パケットを送信します。

既存のネットワークに接続する場合は、ブロードキャストストーム等に注意して、ブロードキャストトラフィックによりネットワークに過負荷が生じることがないように、ネットワーク設定等を考慮してください。

【参考】ブロードキャストストームとは、ブロードキャストパケットが帯域幅を使い切ってしまう、ネットワークがダウンする現象です。

4 コマンド

4.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@ (16進表記の40) の後に3文字または4文字の半角英字 (大文字、小文字) と、それに続くパラメータ (半角数字) からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものがあります。)

コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @SDT,1,1,1,10000 ↵

「,」は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字で、カンマ (16進表記の2C) を表します。

↵は、デリミタ CR LF (復帰+改行, 16進表記の0D と 0A) を表します。

■ エラーがある場合

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合はエラーコマンドを返します。

例 : @SDT,1 ↵

@ERR,1 ↵

■ HELP としての使い方

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、ヘルプコマンドとしてコマンドの一覧を返信します。

例 : ↵

```
----- HELP (1/7) ----- ↵
(OUTPUT TIMING Command) ↵
@GAP / @SAP : Get/Set Aspect ↵
@GAR / @SAR : Get/Set Aspect Restore Mode ↵
@GOV / @SOV : Get/Set Over Scan ↵
@GNP / @SNP : Get/Set Input Position ↵
@GNS / @SNS : Get/Set Input Size ↵
@GNM / @SNM : Get/Set Input Masking ↵
@IAS : Input Autosizing ↵
@GBC / @SBC : Get/Set Background Color ↵
@GTP / @STP : Get/Set Video Test Pattern ↵
@GTW / @STW : Get/Set Video Synthesis Mode ↵
```

4.2 コマンド一覧

■ エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	26

■ 画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GOT / @SOT	出力解像度	27
@GTD	実際の出力解像度	29
@GUM / @SUM	シンク機器のアスペクト比	30
@GAP / @SAP	アスペクト比	31
@GAR / @SAR	アスペクト比復元処理	32
@GOV / @SOV	オーバースキャン	33
@GNP / @SNP	表示位置	34
@SPS	ポジション相対移動	35
@GNS / @SNS	表示サイズ	36
@GNM / @SNM	マスキング	38
@IAS	オートサイジング	40
@GBC / @SBC	バックカラー	41
@GTP / @STP	テストパターン	42
@GVW / @SVW	ビデオウォールの分割数	44
@GWA / @SWA	表示モードとビデオウォールのアドレス	45
@GBE / @SBE	ベゼル設定	47
@GWD / @SWD	ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード	48
@GTW / @STW	映像合成モード	49

■ 画質設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GBR / @SBR	ブライトネス	50
@GCO / @SCO	コントラスト	51
@GHU / @SHU	色相	52
@GST / @SST	彩度	53
@GFL / @SFL	シャープネス	54
@GGM / @SGM	ガンマ	55
@IDC	デフォルトカラー	56

■ 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDT / @SDT	映像信号の無入力監視時間	57
@GHE / @SHE	HDCP 入力の禁止/許可	58

■ 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GEQ / @SEQ	出カイコライザ	59
@GDM / @SDM	出力モード	60
@GEN / @SEN	HDCP 出力	61
@HAU	HDCP 再認証	61
@GUY / @SUY	映像信号無入力時の同期信号出力	62
@GBO / @SBO	映像信号無入力時の出力映像	63
@GDC / @SDC	Deep Color 出力	64
@GVT / @SVT	映像タイプ選択	65
@GMT / @SMT	マトリクススイッチ	66
@GSK / @SSK	基準同期信号	67
@GDL / @SDL	フレーム遅延	68

■ 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GAM / @SAM	デジタル音声出力のミュート	69
@GSL / @SSL	音声レベル	70
@GAS / @SAS	合成 4K 時の音声入力選択	71
@GLO / @SLO	リップシンク	72
@GAT / @SAT	テストトーン出力	73
@GAC / @SAC	テストトーンレベル/周波数	74

■ EDID 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GVF / @SVF	EDID の解像度	75
@GWX / @SWX	WXGA モード選択	76
@GDI / @SDI	Deep Color 入力	77
@GAF / @SAF	音声フォーマット	78
@GSP / @SSP	スピーカー構成	80

■ テロップ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GTO / @STO	テロップ設定	82
@GTB / @STB	テロップ背景色	83
@GTC / @STC	テロップ文字色	84
@GFS / @SFS	テロップ文字サイズ	85
@GTA / @STA	テロップ表示位置	86
@GTN / @STN	テロップ表示内容	87

■ RS-232C 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GCTB / @SCTB	RS-232C 通信設定	88

■ LAN 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GIP / @SIP	LAN 設定	89
@GMC	MAC アドレス	90

■ その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GSY / @SSY	接続機器選択	91
@CLRC	設定の初期化	92
@RBTC	再起動	92

■ インフォメーション

コマンド	機能	詳細ページ
@GSS	入出カステータス	93
@GES	モニタ EDID 情報	96
@GIV	バージョン情報	97

4.3 コマンドの使用制限

設定手段によって、一部のコマンドに制限があります。使用の可否を以下の表に示します。表内の記号の意味は以下のとおりです。

- ：コマンド入力に対応、●：GUI 操作に対応、◎：WEB ブラウザとコマンド入力に対応、
×：未対応

[表 4.1] 設定手段に対するコマンドの制限

コマンド	設定手段		
	NJR-T04HD / NJR-R04HD		NJR-CTB
	RS-232C	LAN (IP-NINJAR Configurator)	LAN
画角設定			
@GOT / @SOT	○	○	○
@GTD	○	○	○
@GUM / @SUM	○	○	◎
@GAP / @SAP	○	○	◎
@GAR / @SAR	○	○	◎
@GOV / @SOV	○	○	◎
@GNP / @SNP	○	○	◎
@SPS	○	○	○
@GNS / @SNS	○	○	◎
@GNM / @SNM	○	○	◎
@IAS	○	○	◎
@GBC / @SBC	○	○	○
@GTP / @STP	○	○	○
@GVW / @SVW	○	○	◎
@GWA / @SWA	○	○	◎
@GBE / @SBE	○	○	◎
@GWD / @SWD	○	○	○
@GTW / @STW	○	○	○
画質設定			
@GBR / @SBR	○	○	◎
@GCO / @SCO	○	○	◎
@GHU / @SHU	○	○	◎
@GST / @SST	○	○	◎
@GFL / @SFL	○	○	◎
@GGM / @SGM	○	○	◎
@IDC	○	○	◎
入力設定			
@GDT / @SDT	○	○	◎
@GHE / @SHE	○	○	◎

[表 4.2] 設定手段に対するコマンドの制限 (つづき)

コマンド	設定手段		
	NJR-T04HD / NJR-R04HD		NJR-CTB
	RS-232C	LAN (IP-NINJAR Configurator)	LAN
出力設定			
@GEQ / @SEQ	○	○	◎
@GDM / @SDM	○	○	◎
@GEN / @SEN	○	○	○
@HAU	○	○	○
@GUY / @SUY	○	○	◎
@GBO / @SBO	○	○	◎
@GDC / @SDC	○	○	◎
@GVT / @SVT	○	○	◎
@GMT / @SMT	○	○	○
@GSK / @SSK	○	○	○
@GDL / @SDL	○	○	○
音声設定			
@GAM / @SAM	○	○	◎
@GSL / @SSL	○	○	○
@GAS / @SAS	○	○	◎
@GLO / @SLO	○	○	○
@GAT / @SAT	○	○	◎
@GAC / @SAC	○	○	○
EDID 設定			
@GVF / @SVF	○	○	◎
@GWX / @SWX	○	○	◎
@GDI / @SDI	○	○	○
@GAF / @SAF	○	○	○
@GSP / @SSP	○	○	○
テロップ設定			
@GTO / @STO	○	○	◎
@GTB / @STB	○	○	◎
@GTC / @STC	○	○	◎
@GFS / @SFS	○	○	◎
@GTA / @STA	○	○	◎
@GTN / @STN	○	○	◎
RS-232C 設定			
@GCTB / @SCTB	×	●	◎
LAN 設定			
@GIP / @SIP	×	●	◎
@GMC	×	●	◎
その他設定			
@GSY / @SSY	○	○	◎
@CLRC	×	●	◎
@RBTC	×	●	◎

[表 4.3] 設定手段に対するコマンドの制限 (つづき)

コマンド	設定手段		
	NJR-T04HD / NJR-R04HD		NJR-CTB
	RS-232C	LAN (IP-NINJAR Configurator)	LAN
インフォメーション			
@GSS	○	○	◎
@GES	○	○	○
@GIV	○	○	◎

4.4 パラメータの入力フォーマット

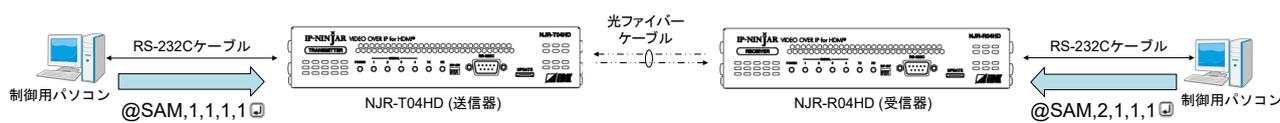
各設定手段におけるパラメータの入力フォーマットは共通です。

ただし、NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、または LAN コネクタから IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) を用いてコマンドを入力する場合は、NJR-T04HD または NJR-R04HD を 1 台しか制御できないため、「チャンネル」の指定は“1”固定になります。

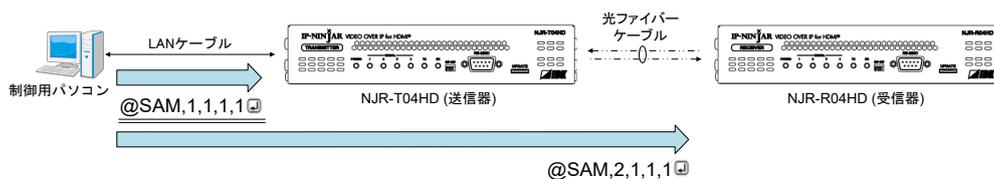
NJR-CTB からコマンドを入力する場合は、ネットワークスイッチを介して接続された複数の NJR-T04HD または NJR-R04HD を制御できるため、任意の「チャンネル」を指定します。

例：デジタル音声出力のミュート設定コマンド

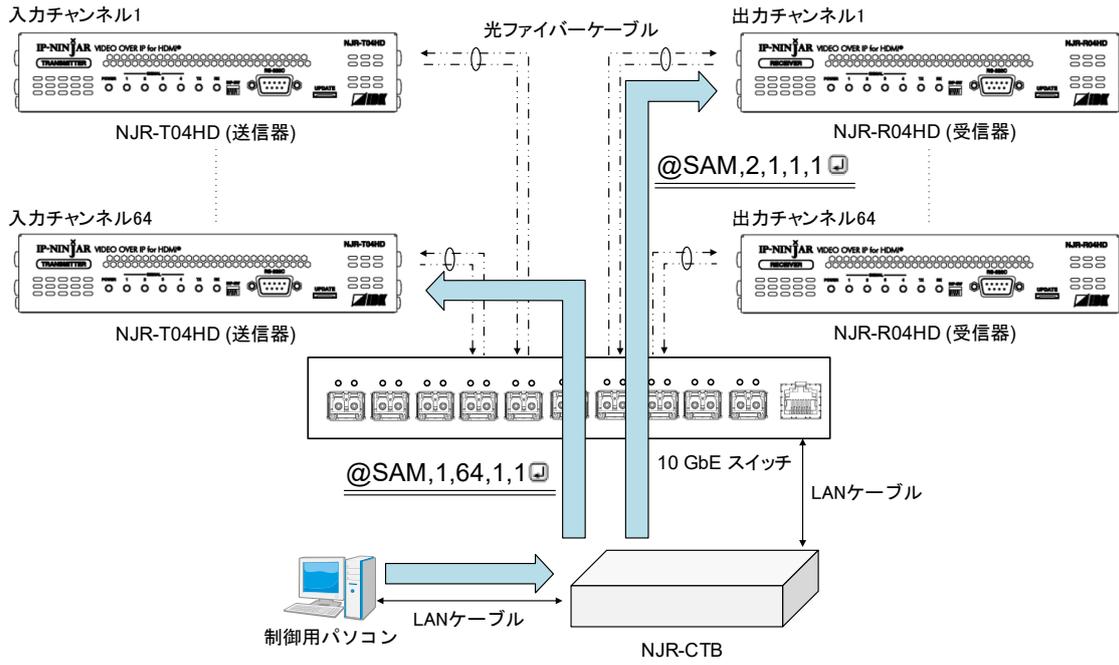
@GAM / @SAM	デジタル音声出力のミュート	
機能	取得	設定
書式	@GAM, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SAM, device, ch, port, mute <input type="checkbox"/>
返り値	@GAM, device, ch, port, mute_1 (, mute_2, mute_3, mute_4) <input type="checkbox"/>	@SAM, device, ch, port, mute <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1”固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	mute_1 ~ mute_4, mute : 音声ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	



[図 4.1] RS-232C からのコマンド入力



[図 4.2] IP-NINJAR Configurator からのコマンド入力



[図 4.3] NJR-CTB からのコマンド入力

4.5 動作モードごとのコマンド使用制限

動作モードによって、一部の設定コマンドに制限があります。使用の可否を以下の表に示します。表内の記号の意味は以下のとおりです。

- ：使用可
- △：条件付き使用可
- ×：使用不可

以下の使用制限は、「4.3 コマンドの使用制限」に記載した表のうち、設定手段が「NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C」で使用可能となっているコマンドについて記載しています。

[表 4.4] 動作モードごとのコマンド使用制限 (NJR-T04HD)

コマンド		NJR-T04HD		
		合成 4K モード 1	合成 4K モード 0	SD/HD モード
		@SSY=1	@SSY=0	@SSY=0 または 1
		@SVT=0	@SVT=0	@SVT=1 / 2 / 3 / 4
画角設定				
@SOT	出力解像度	×	×	×
@SUM	シンク機器のアスペクト比	×	×	×
@SAP	アスペクト比	×	△*	○
@SAR	アスペクト比復元処理	×	△*	○
@SOV	オーバースキャン	×	△*	○
@SNP	表示位置	×	△*	○
@SPS	ポジション相対移動	×	×	×
@SNS	表示サイズ	×	△*	○
@SNM	マスキング	×	△*	○
@IAS	オートサイジング	×	△*	○
@SBC	バックカラー	×	×	○
@STP	テストパターン	×	△*	○
@SVW	ビデオウォールの分割数	×	×	×
@SWA	表示モードとビデオウォールのアドレス	×	×	×
@SBE	ベゼル設定	×	×	×
@SWD	ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード	×	×	×
@STW	映像合成モード	○	○	×
画質設定				
@SBR	ブライトネス	○	○	○
@SCO	コントラスト	○	○	○
@SHU	色相	○	○	○
@SST	彩度	○	○	○
@SFL	シャープネス	○	○	○
@SGM	ガンマ	○	○	○
@IDC	デフォルトカラー	○	○	○

* @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “4 画面モード” に設定されている場合のみ使用可。

[表 4.5] 動作モードごとのコマンド使用制限 (NJR-T04HD) (つづき)

コマンド		NJR-T04HD		
		合成 4K モード 1	合成 4K モード 0	SD/HD モード
		@SSY=1	@SSY=0	@SSY=0 または 1
		@SVT=0	@SVT=0	@SVT=1 / 2 / 3 / 4
入力設定				
@SDT	映像信号の無入力監視時間	○	○	○
@SHE	HDCP 入力の禁止/許可	○	○	○
出力設定				
@SEQ	出力イコライザ	×	×	×
@SDM	出力モード	×	×	×
@SEN	HDCP 出力	×	×	×
@HAU	HDCP 再認証	×	×	×
@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力	×	×	×
@SBO	映像信号無入力時の出力映像	×	×	○
@SDC	Deep Color 出力	×	×	×
@SVT	映像タイプ選択	○	○	○
@SMT	マトリクススイッチ	○	○	×
@SSK	基準同期信号	×	×	×
@SDL	フレーム遅延	×	×	×
音声設定				
@SAM	デジタル音声出力のミュート	○	○	○
@SSL	音声レベル	○	○	○
@SAS	合成 4K 時の音声入力選択	○	○	×
@SLO	リップシンク	×	×	×
@SAT	テストトーン出力	○	○	○
@SAC	テストトーンレベル/周波数	○	○	○
EDID 設定				
@SVF	EDID の解像度	○	○	○
@SWX	WXGA モード選択	○	○	○
@SDI	Deep Color 入力	○	○	○
@SAF	音声フォーマット	○	○	○
@SSP	スピーカー構成	○	○	○
テロップ設定				
@STO	テロップ設定	×	×	×
@STB	テロップ背景色	×	×	×
@STC	テロップ文字色	×	×	×
@SFS	テロップ文字サイズ	×	×	×
@STA	テロップ表示位置	×	×	×
@STN	テロップ表示内容	×	×	×
その他設定				
@SSY	接続機器選択	○	○	○
インフォメーション				
@GSS	入出力ステータス	○	○	○
@GES	モニタ EDID 情報	×	×	×
@GIV	バージョン情報	○	○	○

[表 4.6] 動作モードごとのコマンド使用制限 (NJR-R04HD)

コマンド		NJR-R04HD		
		合成 4K モード 1	合成 4K モード 0	SD/HD モード
		@SSY=1	@SSY=0	@SSY=0 または 1
		送信器が NJR-T01UHD か、または送信器が NJR-T04HD で @SVT=0 の場合	送信器が NJR-T04HD で @SVT=0 の場合	送信器の種類に関わらず SD/HD 解像度の信号が入力される場合
画角設定				
@SOT	出力解像度	○	○	○
@SUM	シンク機器のアスペクト比	○	○	○
@SAP	アスペクト比	×	×	×
@SAR	アスペクト比復元処理	×	×	×
@SOV	オーバースキャン	×	×	×
@SNP	表示位置	○	○	○
@SPS	ポジション相対移動	○	○	○
@SNS	表示サイズ	○	○	○
@SNM	マスキング	○	○	○
@IAS	オートサイジング	○	○	○
@SBC	バックカラー	○	○	○
@STP	テストパターン	○	○	○
@SVW	ビデオウォールの分割数	○	○	○
@SWA	表示モードとビデオウォールのアドレス	○	○	○
@SBE	ベゼル設定	○	○	○
@SWD	ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード	○	○	○
@STW	映像合成モード	×	×	×
画質設定				
@SBR	ブライトネス	○	○	○
@SCO	コントラスト	○	○	○
@SHU	色相	○	○	○
@SST	彩度	○	○	○
@SFL	シャープネス	○	○	○
@SGM	ガンマ	○	○	○
@IDC	デフォルトカラー	○	○	○
入力設定				
@SDT	映像信号の無入力監視時間	×	×	×
@SHE	HDCP 入力の禁止/許可	×	×	×
出力設定				
@SEQ	出力イコライザ	○	○	○
@SDM	出力モード	○	○	○
@SEN	HDCP 出力	○	○	○
@HAU	HDCP 再認証	○	○	○
@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力	○	○	○

[表 4.7] 動作モードごとのコマンド使用制限 (NJR-R04HD) (つづき)

コマンド		NJR-R04HD		
		合成 4K モード 1	合成 4K モード 0	SD/HD モード
		@SSY=1 送信器が NJR-T01UHD か、 または送信器が NJR-T04HD で @SVT=0 の場合	@SSY=0 送信器が NJR-T04HD で @SVT=0 の場合	@SSY=0 または 1 送信器の種類に関 わらず SD/HD 解像 度の信号が入力さ れる場合
@SBO	映像信号無入力時の出力映像	○	○	○
@SDC	Deep Color 出力	○	○	○
@SVT	映像タイプ選択	×	×	×
@SMT	マトリクススイッチ	△*	○	×
@SSK	基準同期信号	○	○	○
@SDL	フレーム遅延	○	○	○
音声設定				
@SAM	デジタル音声出力のミュート	○	○	○
@SSL	音声レベル	○	○	○
@SAS	合成 4K 時の音声入力選択	×	×	×
@SLO	リップシンク	○	○	○
@SAT	テストトーン出力	○	○	○
@SAC	テストトーンレベル/周波数	○	○	○
EDID 設定				
@SVF	EDID の解像度	×	×	×
@SWX	WXGA モード選択	×	×	×
@SDI	Deep Color 入力	×	×	×
@SAF	音声フォーマット	×	×	×
@SSP	スピーカー構成	×	×	×
テロップ設定				
@STO	テロップ設定	○	○	○
@STB	テロップ背景色	○	○	○
@STC	テロップ文字色	○	○	○
@SFS	テロップ文字サイズ	○	○	○
@STA	テロップ表示位置	○	○	○
@STN	テロップ表示内容	○	○	○
その他設定				
@SSY	接続機器選択	○	○	○
インフォメーション				
@GSS	入出カステータス	○	○	○
@GES	モニタ EDID 情報	○	○	○
@GIV	バージョン情報	○	○	○

* 送信器が NJR-T04HD の場合のみ使用可。

4.6 コマンド詳細

4.6.1 エラーステータス

@ERR	エラーステータス	
書式	返り値のみ	
返り値	@ERR, error ↵	
パラメータ	error : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンドまたはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 99 = その他のエラーがあります。	
実行例	@GAM ↵ @ERR,1 ↵	@GAM コマンド送信。 パラメータエラー。
備考	—	

@GOT / @SOT	出力解像度 (つづき)
備考	<p>NJR-T04HD では使用できないコマンドです。</p> <p>NJR-R04HD では以下の条件の場合、OUT1 の設定が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送信器が NJR-T01UHD で、4K 映像が入力されている場合は、4 系統とも同じ出力解像度になります。 ・送信器が NJR-T04HD で、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定され、以下のいずれかの条件の場合は、4 系統とも同じ出力解像度になります。 <ul style="list-style-type: none"> －@GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” に設定されている場合。 －@GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが “0” に設定されている場合。 ・@GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “1” に設定されている出力は、同じ出力解像度になります。 <p>複数台の NJR-R04HD を外部同期機能により同期させる場合は、すべての NJR-R04HD の出力解像度を同じ設定にしてください。</p>

@GTD	実際の出力解像度																														
機能	取得																														
書式	@GTD, device, ch, port <input type="checkbox"/>																														
返り値	@GTD, device, ch, port, resolution_1 (,resolution_2, resolution_3, resolution_4) <input type="checkbox"/>																														
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。																														
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。																														
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4																														
	resolution_1 ~ resolution_4 : 実際の出力解像度 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 = VGA@60 (640x480),</td> <td style="width: 50%;">2 = SVGA@60 (800x600),</td> </tr> <tr> <td>3 = XGA@60 (1024x768),</td> <td>4 = WXGA@60 (1280x768),</td> </tr> <tr> <td>5 = WXGA@60 (1280x800),</td> <td>6 = Quad-VGA@60 (1280x960),</td> </tr> <tr> <td>7 = SXGA@60 (1280x1024),</td> <td>8 = WXGA@60 (1360x768),</td> </tr> <tr> <td>9 = WXGA@60 (1366x768),</td> <td>10 = SXGA+@60 (1400x1050),</td> </tr> <tr> <td>11 = WXGA+@60 (1440x900),</td> <td>12 = WXGA++@60 (1600x900),</td> </tr> <tr> <td>13 = UXGA@60 (1600x1200),</td> <td>14 = WSXGA+@60 (1680x1050),</td> </tr> <tr> <td>15 = VESAHD@60 (1920x1080),</td> <td>16 = WUXGA@60 (1920x1200),</td> </tr> <tr> <td>17 = QWXGA@60 (2048x1152),</td> <td>18 = 480i@59.94 (720x480),</td> </tr> <tr> <td>19 = 480p@59.94 (720x480),</td> <td>20 = 576i@50 (720x576),</td> </tr> <tr> <td>21 = 576p@50 (720x576),</td> <td>22 = 720p@50 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>23 = 720p@59.94 (1280x720),</td> <td>24 = 720p@60 (1280x720),</td> </tr> <tr> <td>25 = 1080i@50 (1920x1080),</td> <td>26 = 1080i@59.94 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>27 = 1080i@60 (1920x1080),</td> <td>28 = 1080p@50 (1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>29 = 1080p@59.94 (1920x1080) ※初期値,</td> <td>30 = 1080p@60 (1920x1080)</td> </tr> </table>		1 = VGA@60 (640x480),	2 = SVGA@60 (800x600),	3 = XGA@60 (1024x768),	4 = WXGA@60 (1280x768),	5 = WXGA@60 (1280x800),	6 = Quad-VGA@60 (1280x960),	7 = SXGA@60 (1280x1024),	8 = WXGA@60 (1360x768),	9 = WXGA@60 (1366x768),	10 = SXGA+@60 (1400x1050),	11 = WXGA+@60 (1440x900),	12 = WXGA++@60 (1600x900),	13 = UXGA@60 (1600x1200),	14 = WSXGA+@60 (1680x1050),	15 = VESAHD@60 (1920x1080),	16 = WUXGA@60 (1920x1200),	17 = QWXGA@60 (2048x1152),	18 = 480i@59.94 (720x480),	19 = 480p@59.94 (720x480),	20 = 576i@50 (720x576),	21 = 576p@50 (720x576),	22 = 720p@50 (1280x720),	23 = 720p@59.94 (1280x720),	24 = 720p@60 (1280x720),	25 = 1080i@50 (1920x1080),	26 = 1080i@59.94 (1920x1080),	27 = 1080i@60 (1920x1080),	28 = 1080p@50 (1920x1080),	29 = 1080p@59.94 (1920x1080) ※初期値,
1 = VGA@60 (640x480),	2 = SVGA@60 (800x600),																														
3 = XGA@60 (1024x768),	4 = WXGA@60 (1280x768),																														
5 = WXGA@60 (1280x800),	6 = Quad-VGA@60 (1280x960),																														
7 = SXGA@60 (1280x1024),	8 = WXGA@60 (1360x768),																														
9 = WXGA@60 (1366x768),	10 = SXGA+@60 (1400x1050),																														
11 = WXGA+@60 (1440x900),	12 = WXGA++@60 (1600x900),																														
13 = UXGA@60 (1600x1200),	14 = WSXGA+@60 (1680x1050),																														
15 = VESAHD@60 (1920x1080),	16 = WUXGA@60 (1920x1200),																														
17 = QWXGA@60 (2048x1152),	18 = 480i@59.94 (720x480),																														
19 = 480p@59.94 (720x480),	20 = 576i@50 (720x576),																														
21 = 576p@50 (720x576),	22 = 720p@50 (1280x720),																														
23 = 720p@59.94 (1280x720),	24 = 720p@60 (1280x720),																														
25 = 1080i@50 (1920x1080),	26 = 1080i@59.94 (1920x1080),																														
27 = 1080i@60 (1920x1080),	28 = 1080p@50 (1920x1080),																														
29 = 1080p@59.94 (1920x1080) ※初期値,	30 = 1080p@60 (1920x1080)																														
実行例	@GTD,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の実際の出力解像度を取得。																													
	@GTD,2,1,1,30 <input type="checkbox"/>	1080p@60 (1920x1080)。																													
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。 NJR-R04HD で、 @GOT / @SOT 出力解像度 (P.27) が “0” に設定されている場合は実際に出力している解像度を返信し、“0” 以外に設定されている場合は設定した解像度を返信します。																														

@GUM / @SUM	シンク機器のアスペクト比	
機能	取得	設定
書式	@GUM, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SUM, device, ch, port, aspect <input type="checkbox"/>
返り値	@GUM, device, ch, port, aspect_1 (, aspect_2, aspect_3, aspect_4) <input type="checkbox"/>	@SUM, device, ch, port, aspect <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。 ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 aspect_1 ~ aspect_4, aspect : シンク機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	@GUM,2,1,1 <input type="checkbox"/> @GUM,2,1,1,5 <input type="checkbox"/> @SUM,2,1,1,5 <input type="checkbox"/> @SUM,2,1,1,5 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 に接続されているシンク機器のアスペクト比を取得。 16:10。 チャンネル 1 の OUT1 にアスペクト比 16:10 のシンク機器を接続。 正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。 NJR-R04HD では以下の条件の場合、OUT1 の設定が有効になります。 ・ @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが “1” に設定されている出力は、同じ設定になります。 また、以下の条件の場合、各出力個別に設定できますが、入力された映像を縮小して表示し、各出力の縮小率が異なる場合、実際に出力される映像は一番小さい縮小率の出力に制限されます。 ・ 送信器が NJR-T01UHD で、4K 映像が入力されている場合。 ・ 送信器が NJR-T04HD で、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定され、以下のいずれかの条件の場合。 - @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” に設定されている場合。 - @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “0” または “1” に設定されている場合。	

@GAP / @SAP	アスペクト比	
機能	取得	設定
書式	@GAP, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SAP, device, ch, port, aspect <input type="checkbox"/>
返り値	@GAP, device, ch, port, aspect_1 (, aspect_2, aspect_3, aspect_4) <input type="checkbox"/>	@SAP, device, ch, port, aspect <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4	
	aspect_1 ~ aspect_4, aspect : アスペクト比 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	@GAP,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 のアスペクト比を取得。
	@GAP,1,1,1,2 <input type="checkbox"/>	4:3。
	@SAP,1,1,1,2 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 のアスペクト比を 4:3 に設定。
	@SAP,1,1,1,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。 NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

@GAR / @SAR	アスペクト比復元処理	
機能	取得	設定
書式	@GAR, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SAR, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>
返り値	@GAR, device, ch, port, mode_1 (, mode_2, mode_3, mode_4) <input type="checkbox"/>	@SAR, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ	<p>device : 機種種別 “1” 固定です。</p> <p>ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4</p> <p>mode_1 ~ mode_4, mode : アスペクト比復元処理 0 = LETTER BOX / SIDE PANEL ※初期値, 1 = SIDE CUT / TOP-BOTTOM CUT</p>	
実行例	<p>@GAR,1,1,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@GAR,1,1,1,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@SAR,1,1,1,0 <input type="checkbox"/></p> <p>@SAR,1,1,1,0 <input type="checkbox"/></p>	<p>チャンネル 1 の IN1 のアスペクト比復元処理設定を取得。 SIDE CUT / TOP-BOTTOM CUT。</p> <p>チャンネル 1 の IN1 のアスペクト比復元処理設定を LETTER BOX / SIDE PANEL に設定。 正常終了。</p>
備考	<p>NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。 NJR-R04HD では使用できないコマンドです。</p>	

@GOV / @SOV		オーバースキャン	
機能	取得	設定	
書式	@GOV, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SOV, device, ch, port, overscan <input type="checkbox"/>	
返り値	@GOV, device, ch, port, overscan_1 (, overscan_2, overscan_3, overscan_4) <input type="checkbox"/>	@SOV, device, ch, port, overscan <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。		
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4		
	overscan_1 ~ overscan_4, overscan : オーバースキャン 100% ~ 115% ※初期値 SDTV : 105%、HDTV またはパソコン : 100%		
実行例	@GOV,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 のオーバースキャンを取得。	
	@GOV,1,1,1,100 <input type="checkbox"/>	100%。	
	@SOV,1,1,1,100 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 のオーバースキャンを 100% に設定。	
	@SOV,1,1,1,100 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。 NJR-R04HD では使用できないコマンドです。		

@GNP / @SNP	表示位置	
機能	取得	設定
書式	@GNP, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SNP, device, ch, port, h_position, v_position <input type="checkbox"/>
返り値	@GNP, device, ch, port, h_position_1, v_position_1 (, h_position_2, v_position_2, h_position_3, v_position_3, h_position_4, v_position_4) <input type="checkbox"/>	@SNP, device, ch, port, h_position, v_position <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	h_position_1 ~ h_position_4, h_position : 水平表示位置 [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合： - 水平表示サイズ設定 ~ +1920 ※初期値 0 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合： @GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の入力解像度に対して、 - 水平表示サイズ設定 ~ +水平入力解像度 ※初期値 0 [NJR-R04HD] - 水平表示サイズ設定 ~ +水平出力解像度 ※初期値 0	
	v_position_1 ~ v_position_4, v_position : 垂直表示位置 [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合： - 垂直表示サイズ設定 ~ +1080 ※初期値 0 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合： @GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の入力解像度に対して、 - 垂直表示サイズ設定 ~ +垂直入力解像度 ※初期値 0 [NJR-R04HD] - 垂直表示サイズ設定 ~ +垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	@GNP,2,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の IN1 の表示位置を取得。
	@GNP,2,1,1,-50,20 <input type="checkbox"/>	水平表示位置は-50、垂直表示位置は+20。
	@SNP,2,1,1,-50,20 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の IN1 の水平表示位置を-50、垂直表示位置を+20 に設定。
	@SNP,2,1,1,-50,20 <input type="checkbox"/>	正常終了。

@GNP / @SNP	表示位置 (つづき)
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。

@SPS	ポジション相対移動	
機能	設定	
書式	@SPS, device, ch, port, h_move, v_move ↵	
返り値	@SPS, device, ch, port, h_move, v_move ↵	
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	h_move : 水平表示位置可変値 — (水平表示サイズ設定 + 水平出力解像度) ~ 水平表示サイズ設定 + 水平出力解像度	
	v_move : 垂直表示位置可変値 — (垂直表示サイズ設定 + 垂直出力解像度) ~ 垂直表示サイズ設定 + 垂直出力解像度	
実行例	@SPS,2,1,0,200,0 ↵ @SPS,2,1,0,200,0 ↵	NJR-R04HD のチャンネル 1 の全出力の映像位置を右方向に 200 画素移動する設定。 正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GNS / @SNS	表示サイズ	
機能	取得	設定
書式	@GNS, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SNS, device, ch, port, h_size, v_size <input type="checkbox"/>
返り値	@GNS, device, ch, port, h_size_1, v_size_1 (, h_size_2, v_size_2, h_size_3, v_size_3, h_size_4, v_size_4) <input type="checkbox"/>	@SNS, device, ch, port, h_size, v_size <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	h_size_1 ~ h_size_4, h_size : 水平表示サイズ [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合： 1920 ÷ 4 ~ 1920 × 4 ※初期値 1920 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合： @GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の入力解像度に対して、 水平入力解像度 ÷ 4 ~ + 水平入力解像度 × 4 ※初期値 水平入力解像度 [NJR-R04HD] 水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 6 ※初期値 水平出力解像度	
	v_size_1 ~ v_size_4, v_size : 垂直表示サイズ [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合： 1080 ÷ 4 ~ 1080 × 4 ※初期値 1080 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合： @GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の入力解像度に対して、 垂直入力解像度 ÷ 4 ~ + 垂直入力解像度 × 4 ※初期値 垂直入力解像度 [NJR-R04HD] 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 6 ※初期値 垂直出力解像度	
	v_size_1 ~ v_size_4, v_size : 垂直表示サイズ [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合： 1080 ÷ 4 ~ 1080 × 4 ※初期値 1080 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合： @GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の入力解像度に対して、 垂直入力解像度 ÷ 4 ~ + 垂直入力解像度 × 4 ※初期値 垂直入力解像度 [NJR-R04HD] 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 6 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	@GNS,2,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の IN1 の表示サイズを取得。
	@GNS,2,1,1,1920,1080 <input type="checkbox"/>	水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1080。
	@SNS,2,1,1,1920,1080 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の IN1 の水平表示サイズを 1920、垂直表示サイズを 1080 に設定。
	@SNS,2,1,1,1920,1080 <input type="checkbox"/>	正常終了。

@GNS / @SNS	表示サイズ (つづき)
備考	<p>NJR-T04HD では@GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また@GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。</p> <p>NJR-T04HD の取得コマンドの応答は、@GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合は、出力解像度 1920x1080 に対する表示サイズを返信します。</p> <p>@GSY / @SSY 接続機器選択 が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合は、4 系統とも水平 1920、垂直 1080 を返信します。</p> <p>@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の入力解像度に対する表示サイズを返信します。</p> <p>NJR-R04HD では以下の条件の場合、OUT1 の設定が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが “1” に設定されている出力は、同じ設定になります。 <p>また、以下の条件の場合、各出力個別に設定できますが、入力された映像を縮小して表示し、各出力の縮小率が異なる場合、実際に出力される映像は一番小さい縮小率の出力に制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送信器が NJR-T01UHD で、4K 映像が入力されている場合。 ・ 送信器が NJR-T04HD で、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定され、以下のいずれかの条件の場合。 <ul style="list-style-type: none"> － @GSY / @SSY 接続機器選択 が “1” に設定されている場合。 － @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “0” または “1” に設定されている場合。

@GNM / @SNM	マスキング	
機能	取得	設定
書式	@GNM, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SNM, device, ch, port, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
返り値	@GNM, device, ch, port, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>	@SNM, device, ch, port, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	left : 左側マスキング [NJR-T04HD] 水平表示位置 (ただし 0 以上) ~ 右側マスキング ※初期値 0 [NJR-R04HD] @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モード が “0” または “2” に設定されている場合 : 水平表示位置 (ただし 0 以上) ~ 右側マスキング ※初期値 0 @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “1” に設定されている場合 : 0 ~ 右側マスキング ※初期値 0	
	right : 右側マスキング [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合 : 左側マスキング ~ 水平表示位置 + 水平表示サイズ (ただし 1920 以下) ※初期値 1920 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合 : 左側マスキング ~ 水平表示位置 + 水平表示サイズ (ただし @GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の水平入力解像度以下) ※初期値 水平入力解像度 [NJR-R04HD] @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “0” または “2” に設定されている場合 : 左側マスキング ~ 水平表示位置 + 水平表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度 @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “1” に設定されている場合 : 左側マスキング ~ 水平表示サイズ ※初期値 水平表示サイズ	

@GNM / @SNM	マスキング (つづき)	
パラメータ	<p>top : 上側マスキング [NJR-T04HD] 垂直表示位置 (ただし 0 以上) ~ 下側マスキング ※初期値 0</p> <p>[NJR-R04HD] @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが“0”または“2”に設定されている場合： 垂直表示位置 (ただし 0 以上) ~ 下側マスキング ※初期値 0</p> <p>@GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが“1”に設定されている場合： 0 ~ 下側マスキング ※初期値 0</p> <hr/> <p>bottom : 下側マスキング [NJR-T04HD] @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が“0”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が“0”に設定されている場合： 上側マスキング ~ 垂直表示位置+垂直表示サイズ (ただし 1080 以下) ※初期値 1080</p> <p>@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“1”~“4”に設定されている場合： 上側マスキング ~ 垂直表示位置+垂直表示サイズ (ただし@GVT / @SVT 映像タイプ選択 で選択された入力の垂直入力解像度以下) ※初期値 垂直入力解像度</p> <p>[NJR-R04HD] @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが“0”または“2”に設定されている場合： 上側マスキング ~ 垂直表示位置+垂直表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度</p> <p>@GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが“1”に設定されている場合： 上側マスキング ~ 垂直表示サイズ ※初期値 垂直表示サイズ</p>	
実行例	<p>@GNM,2,1,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@GNM,2,1,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/></p> <p>@SNM,2,1,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/></p> <p>@SNM,2,1,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/></p>	<p>NJR-R04HD のチャンネル 1 の IN1 のマスキングを取得。 左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。</p> <p>NJR-R04HD のチャンネル 1 の IN1 のマスキングを左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定。 正常終了。</p>
備考	<p>NJR-T04HD では@GSY / @SSY 接続機器選択 が“1”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“0”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また @GSY / @SSY 接続機器選択 が“0”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“0”かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が“1”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。</p>	

@IAS	オートサイジング	
機能	設定	
書式	@IAS, device, ch, port <input type="checkbox"/>	
返り値	@IAS, device, ch, port <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
実行例	@IAS,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 から入力された映像がシンク機器いっぱいに表示されるよう、次の項目を初期化。 @GAP / @SAP アスペクト比 @GOV / @SOV オーバースキャン @GNP / @SNP 表示位置 @GNS / @SNS 表示サイズ @GNM / @SNM マスキング
	@IAS,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	@IAS,2,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の OUT1 から出力される映像がシンク機器いっぱいに表示されるよう、次の項目を初期化。 @GNP / @SNP 表示位置 @GNS / @SNS 表示サイズ @GNM / @SNM マスキング
@IAS,2,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が“1”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が“0”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また @GSY / @SSY 接続機器選択 が“0”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“0”かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が“1”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。	

@GBC / @SBC	バックカラー	
機能	取得	設定
書式	@GBC, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SBC, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>
返り値	@GBC, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@SBC, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 “全出力” は、設定コマンドのみ指定することができます。	
	red : バックカラー (赤) green : バックカラー (緑) blue : バックカラー (青) 0 ~ 255 ※初期値 0 (黒)	
実行例	@GBC,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のバックカラーを取得。
	@GBC,2,1,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	RGB とともに 128 (灰色)。
	@SBC,2,1,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のバックカラーを RGB とともに 128 (灰色) に設定。
	@SBC,2,1,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。この場合のバックカラーは、黒になります。	

@GTP / @STP	テストパターン	
機能	取得	設定
書式	@GTP, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@STP, device, ch, port, pattern, scroll <input type="checkbox"/>
返り値	@GTP, device, ch, port, pattern_1, scroll_1 (, pattern_2, scroll_2, pattern_3, scroll_3, pattern_4, scroll_4) <input type="checkbox"/>	@STP, device, ch, port, pattern, scroll <input type="checkbox"/>
パラメータ	<p>device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD</p> <p>ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>port : 出力コネクタ [NJR-T04HD] @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “1” ~ “4” に設定されている場合 0 = 全出力 のみ設定可能。 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 [NJR-R04HD] 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4</p> <p>pattern_1 ~ pattern_4, pattern : テストパターン 0 = OFF ※初期値, 1 = VERTICAL COLOR BAR, 2 = HORIZONTAL COLOR BAR, 3 = VERTICAL GRAY SCALE, 4 = HORIZONTAL GRAY SCALE, 5 = VERTICAL RAMP, 6 = HORIZONTAL RAMP, 7 = 100% WHITE RASTER, 8 = 50% WHITE RASTER, 9 = 100% RED RASTER, 10 = 100% GREEN RASTER, 11 = 100% BLUE RASTER, 12 = CROSS HATCH, 13 = OUTPUT FRAME, 14 = VERTICAL STRIPE, 15 = HORIZONTAL STRIPE, 16 = VERTICAL ZEBRA, 17 = HORIZONTAL ZEBRA テストパターン番号 1 ~ 6、16、17 は、スクロールができます。</p> <p>scroll_1 ~ scroll_4, scroll : スクロール 0 = OFF ※初期値, 1 = 3 ピクセル/フレーム ~ 10 = 30 ピクセル/フレーム 1 フレームごとにスクロールするピクセル数は、「設定値×3」の値です。</p>	
実行例	<p>@GTP,2,1,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@GTP,2,1,1,3,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@STP,2,1,1,3,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@STP,2,1,1,3,1 <input type="checkbox"/></p>	<p>チャンネル 1 の OUT1 のテストパターンの出力設定を取得。</p> <p>VERTICAL GRAY SCALE を 3 ピクセル/フレームでスクロールしている。</p> <p>チャンネル 1 の OUT1 に VERTICAL GRAY SCALE を表示し、3 ピクセル/フレームでスクロールする。</p> <p>正常終了。</p>

@GTP / @STP	テストパターン (つづき)
備考	NJR-T04HD では@GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が“1”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が“0”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。また@GSY / @SSY 接続機器選択 が“0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が“1”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。

@GVW / @SVW	ビデオウォールの分割数	
機能	取得	設定
書式	@GVW, device, ch, reservedd <input type="checkbox"/>	@SVW, device, ch, reserved, h_divide, v_divide <input type="checkbox"/>
返り値	@GVW, device, ch, reserved, h_divide, v_divide <input type="checkbox"/>	@SVW, device, ch, reserved, h_divide, v_divide <input type="checkbox"/>
パラメータ	<p>device : 機種種別 “2” 固定です。</p> <p>ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>reserved : 予約 “1” 固定です。</p> <p>h_divide : 水平分割数 @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード (P.48) が “0” に設定されている場合： 1 ~ 2 ※初期値 2 @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード が “1” に設定されている場合： 1 ~ 5 ※初期値 2 1×1 に設定するとビデオウォール無効になり、各出力に映像を分配出力します。</p> <p>v_divide : 垂直分割数 @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード が “0” に設定されている場合： 1 ~ 2 ※初期値 2 @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード が “1” に設定されている場合： 1 ~ 5 ※初期値 2 1×1 に設定するとビデオウォール無効になり、各出力に映像を分配出力します。</p>	
実行例	<p>@GVW,2,1,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@GVW,2,1,1,2,2 <input type="checkbox"/></p> <p>@SVW,2,1,1,2,1 <input type="checkbox"/></p> <p>@SVW,2,1,1,2,1 <input type="checkbox"/></p>	<p>チャンネル 1 のビデオウォールの分割数 を取得。</p> <p>水平分割数は 2、垂直分割数は 2。</p> <p>チャンネル 1 のビデオウォールの分割数 を、水平分割数 2、垂直分割数 1 に設定。 正常終了。</p>
備考	<p>NJR-T04HD では使用できないコマンドです。</p> <p>NJR-R04HD では、分割数を変更すると@GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが初期化され、各出力のアドレスが画面の左上から順に割り当てられます。</p> <p>また、@GNP / @SNP 表示位置 (P.34)、@GNS / @SNS 表示サイズ (P.36)と、@GNM / @SNM マスキング (P.38)、@GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレスの表示モードが “1” の時の@GDL / @SDL フレーム遅延 (P.68) の設定が初期化されます。</p>	

@GWA / @SWA	表示モードとビデオウォールのアドレス	
機能	取得	設定
書式	@GWA, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SWA, device, ch, port, 2k_mode, 4k_t04_mode, 4k_t01_mode, h_address, v_address <input type="checkbox"/>
返り値	@GWA, device, ch, port, 2k_mode_1, 4k_t04_mode_1, 4k_t01_mode_1, h_address_1, v_address_1 (,2k_mode_2, 4k_t04_mode_2, 4k_t01_mode_2, h_address_2, v_address_2, ...) <input type="checkbox"/>	@SWA, device, ch, port, 2k_mode, 4k_t04_mode, 4k_t01_mode, h_address, v_address <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	2k_mode_1 ~ 2k_mode_4, 2k_mode : 4K 映像以外の表示モード 0 = 分配 ※初期値 1 = ビデオウォール	
	4k_t04_mode_1 ~ 4k_t04_mode_4, 4k_t04_mode : NJR-T04HD からの 4K 映像の表示モード 0 = 分配 ※初期値 1 = ビデオウォール 2 = 4 分割	
	4k_t01_mode_1 ~ 4k_t01_mode_4, 4k_t01_mode : NJR-T01UHD からの 4K 映像の表示モード 0 = 分配 ※初期値 1 = ビデオウォール	
	h_address_1 ~ h_address_4, h_address : 水平アドレス -1 ~ (ビデオウォールの分割数-1) ※初期値 OUT1 : 0, OUT2 : 1, OUT3 : 0, OUT4 : 1 水平アドレスまたは垂直アドレスのいずれかに-1を指定すると、アドレスを変更せずに表示モードだけ切り換えられます。	
	v_address_1 ~ v_address_4, v_address : 垂直アドレス -1 ~ (ビデオウォールの分割数-1) ※初期値 OUT1 : 0, OUT2 : 0, OUT3 : 1, OUT4 : 1 水平アドレスまたは垂直アドレスのいずれかに-1を指定すると、アドレスを変更せずに表示モードだけ切り換えられます。	

@GWA / @SWA	表示モードとビデオウォールのアドレス (つづき)	
実行例	@GWA,2,1,1  @GWA,2,1,1,1,2,1,0,0 	チャンネル1のOUT1の表示モードとアドレスを取得。 4K映像以外はビデオウォール、NJR-T04HDからの4K映像は4分割、NJR-T01UHDからの4K映像はビデオウォール、水平アドレスは0、垂直アドレスは0。
	@SWA,2,1,2,1,1,1,-1,-1  @SWA,2,1,2,1,1,1,-1,-1 	チャンネル1のOUT2の表示モードをすべてビデオウォールに設定し、水平と垂直アドレスは変更しない。 正常終了。
備考	NJR-T04HDでは使用できないコマンドです。 NJR-R04HDでは以下の設定条件で使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ・4K映像入力時は、各出力の表示モードを個別に設定することはできません。 ・4K映像以外の入力時は、ビデオウォールはOUT1の同期信号を使用するので、ビデオウォール使用時は、必ずOUT1を有効に設定してください。 アドレスを変更すると、 @GNP / @SNP 表示位置 (P.34) 、 @GNS / @SNS 表示サイズ (P.36) 、 @GNM / @SNM マスキング (P.38) 、 @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが“1”の時の @GDL / @SDL フレーム遅延 (P.68) の設定が初期化されます。	

@GBE / @SBE	ベゼル設定	
機能	取得	設定
書式	@GBE, device, ch, reserved Ⓜ	@SBE, device, ch, reserved, left, right, top, bottom Ⓜ
返り値	@GBE, device, ch, reserved, left, right, top, bottom Ⓜ	@SBE, device, ch, reserved, left, right, top, bottom Ⓜ
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	reserved : 予約 “1” 固定です。	
	left : 左端ベゼル 0 ~ 200 ※初期値 0	
	right : 右端ベゼル 0 ~ 200 ※初期値 0	
	top : 上端ベゼル 0 ~ 200 ※初期値 0	
	bottom : 下端ベゼル 0 ~ 200 ※初期値 0	
実行例	@GBE,2,1,1 Ⓜ	チャンネル 1 のベゼル設定を取得。
	@GBE,2,1,1,10,10,10,10 Ⓜ	左、右、上、下のベゼル幅は 10 ピクセル。
	@SBE,2,1,1,20,20,20,20 Ⓜ	チャンネル 1 の左、右、上、下に 20 ピクセルのベゼル幅を設定。
	@SBE,2,1,1,20,20,20,20 Ⓜ	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GWD / @SWD	ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード	
機能	取得	設定
書式	@GWD, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SWD, device, ch, reserved, delaymode <input type="checkbox"/>
返り値	@GWD, device, ch, reserved, delaymode <input type="checkbox"/>	@SWD, device, ch, reserved, delaymode <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	reserved : 予約 “1” 固定です。	
	delaymode : フレーム遅延設定モード 0 = 通常モード ※初期値 1 = 拡張モード	
実行例	@GWD,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 のビデオウォール時のフレーム遅延設定モードを取得。
	@GWD,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	通常モード。
	@SWD,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 のビデオウォール時のフレーム遅延設定モードを拡張モードに設定。
	@SWD,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。 NJR-R04HD では、フレーム遅延設定モードを変更すると、@GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが“1”の時の@GDL / @SDL フレーム遅延 (P.68) の設定が初期化されます。	

@GTW / @STW	映像合成モード	
機能	取得	設定
書式	@GTW, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@STW, device, ch, reserved, mode <input type="checkbox"/>
返り値	@GTW, device, ch, reserved, mode, status <input type="checkbox"/>	@STW, device, ch, reserved, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ	<p>device : 機種種別 “1” 固定です。</p> <p>ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>reserved : 予約 “1” 固定です。</p> <p>mode : 映像合成モード設定 0 = 4 画面モード ※初期値 1 = 1 画面モード</p> <p>status : 映像合成モード動作状態 0 = 4 画面モード 1 = 1 画面モード</p>	
実行例	@GTW,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の映像合成モード設定と動作状態を取得。
	@GTW,1,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	1 画面モードの設定で動作中。
	@STW,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の映像合成モードを 1 画面モードに設定。
	@STW,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	<p>NJR-T04HD では、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “1” ~ “4” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。</p> <p>IN1~IN4 から異なる解像度の映像が入力されている場合や、IN1~IN4 からインターレース信号が入力されている場合は、映像合成モードを “1” に設定することはできません。</p> <p>@GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に変更されると、@GAP / @SAP アスペクト比 (P.31)、@GAR / @SAR アスペクト比復元処理 (P.32)、@GOV / @SOV オーバースキャン (P.33)、@GNP / @SNP 表示位置 (P.34)、@GNS / @SNS 表示サイズ (P.36)、@GNM / @SNM マスキング (P.38) の設定が初期化され、@GTP / @STP テストパターン (P.42) の設定が “OFF” になります。</p> <p>NJR-T04HD の取得コマンドの応答は、映像合成モードが “1” に設定されている場合、通常は “1” が返信されます。ただし、映像合成モードが “1” に設定されている場合でも、IN1~IN4 から異なる解像度の映像が入力されている場合は、一時的に “0” が返信されます。また、映像合成モードが “1” に設定されている場合でも、インターレース信号が入力されている場合は、一時的に “0” が返信されます。</p> <p>NJR-R04HD では使用できないコマンドです。</p>	

4.6.3 画質設定

@GBR / @SBR	ブライトネス	
機能	取得	設定
書式	@GBR, device, ch, port Ⓜ	@SBR, device, ch, port, bright Ⓜ
返り値	@GBR, device, ch, port, bright_1 (, bright_2, bright_3, bright_4) Ⓜ	@SBR, device, ch, port, bright Ⓜ
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	bright_1 ~ bright_4, bright : ブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	@GBR,1,1,1 Ⓜ	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のブライトネスを取得。
	@GBR,1,1,1,100 Ⓜ	100%。
	@SBR,1,1,1,100 Ⓜ	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のブライトネスを 100% に設定。
	@SBR,1,1,1,100 Ⓜ	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。	

@GCO / @SCO		コントラスト	
機能	取得	設定	
書式	@GCO, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SCO, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>	
返り値	@GCO, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@SCO, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD		
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4 “全入力 / 全出力” は、設定コマンドのみ指定することができます。		
	red : コントラスト (赤) green : コントラスト (緑) blue : コントラスト (青) 0 ~ 200 ※初期値 100		
実行例	@GCO,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のコントラストを取得。	
	@GCO,1,1,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>	赤 105%、緑 100%、青 95%。	
	@SCO,1,1,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95% に設定。	
	@SCO,1,1,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。		

@GHU / @SHU	色相	
機能	取得	設定
書式	@GHU, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SHU, device, ch, port, hue <input type="checkbox"/>
返り値	@GHU, device, ch, port, hue_1 (, hue_2, hue_3, hue_4) <input type="checkbox"/>	@SHU, device, ch, port, hue <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	hue_1 ~ hue_4, hue : 色相 0 ~ 359 ※初期値 0	
実行例	@GHU,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の色相を取得。
	@GHU,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	0°。
	@SHU,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の色相を 0° に設定。
	@SHU,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では@GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が“1”かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が“0”に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“1” ~ “4”に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。	

@GST / @SST	彩度	
機能	取得	設定
書式	@GST, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SST, device, ch, port, saturation <input type="checkbox"/>
返り値	@GST, device, ch, port, saturation_1 (, saturation_2, saturation_3, saturation_4) <input type="checkbox"/>	@SST, device, ch, port, saturation <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	saturation_1 ~ saturation_4, saturation : 彩度 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	@GST,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の彩度を取得。
	@GST,1,1,1,100 <input type="checkbox"/>	100%。
	@SST,1,1,1,100 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の彩度を 100% に設定。
	@SST,1,1,1,100 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。NJR-R04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に設定されている場合は、OUT1 の設定が有効になり 4 系統とも同じ彩度になります。	

@GFL / @SFL	シャープネス	
機能	取得	設定
書式	@GFL, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SFL, device, ch, port, sharp <input type="checkbox"/>
返り値	@GFL, device, ch, port, sharp_1 (, sharp_2, sharp_3, sharp_4) <input type="checkbox"/>	@SFL, device, ch, port, sharp <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	sharp_1 ~ sharp_4, sharp : シャープネス -5 ~ +15 ※初期値 ±0	
実行例	@GFL,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のシャープネスを取得。
	@GFL,1,1,1,5 <input type="checkbox"/>	+5。
	@SFL,1,1,1,5 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のシャープネスを+5 に設定。
	@SFL,1,1,1,5 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。	

@GGM / @SGM	ガンマ	
機能	取得	設定
書式	@GGM, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SGM, device, ch, port, gamma <input type="checkbox"/>
返り値	@GGM, device, ch, port, gamma_1 (, gamma_2, gamma_3, gamma_4) <input type="checkbox"/>	@SGM, device, ch, port, gamma <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	gamma_1 ~ gamma_4, gamma : ガンマ 1 = 0.1 ~ 30 = 3.0 ※初期値 10 = 1.0	
実行例	@GGM,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のガンマを取得。
	@GGM,1,1,1,10 <input type="checkbox"/>	10。
	@SGM,1,1,1,10 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 のガンマを 10 に設定。
	@SGM,1,1,1,10 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。	

@IDC	デフォルトカラー	
機能	設定	
書式	@IDC, device, ch, port <input type="checkbox"/>	
返り値	@IDC, device, ch, port <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
実行例	@IDC,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の画質設定を初期化。 @GBR / @SBR ブライトネス @GCO / @SCO コントラスト @GHU / @SHU 色相 @GST / @SST 彩度 @GFL / @SFL シャープネス @GGM / @SGM ガンマ 正常終了。
	@IDC,1,1,1 <input type="checkbox"/>	
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合は、全入力に対する設定コマンドのみ有効です。 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “1” ~ “4” に設定されている場合は、全入力または各入力を個別に設定可能ですが、全入力と同じ設定になります。	

4.6.4 入力設定

@GDT / @SDT	映像信号の無入力監視時間	
機能	取得	設定
書式	@GDT, device, ch, port <input type="button" value="↵"/>	@SDT, device, ch, port, time <input type="button" value="↵"/>
返り値	@GDT, device, ch, port, time_1 (, time_2, time_3, time_4) <input type="button" value="↵"/>	@SDT, device, ch, port, time <input type="button" value="↵"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4	
	time_1 ~ time_4, time : 無入力監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 1000 ms 単位で設定し、下 3 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 2955 と指定すると、2000 ms に設定されます)	
実行例	@GDT,1,1,1 <input type="button" value="↵"/>	チャンネル 1 の IN1 の無入力監視時間を取得。
	@GDT,1,1,1,6000 <input type="button" value="↵"/>	6000 ms (6 秒)。
	@SDT,1,1,1,6000 <input type="button" value="↵"/>	チャンネル 1 の IN1 の無入力監視時間を 6000 ms (6 秒) に設定。
	@SDT,1,1,1,6000 <input type="button" value="↵"/>	正常終了。
備考	NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

@GHE / @SHE	HDCP 入力の禁止 / 許可	
機能	取得	設定
書式	@GHE, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SHE, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
返り値	@GHE, device, ch, port, hdcp_1 (, hdcp_2, hdcp_3, hdcp_4) <input type="checkbox"/>	@SHE, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4	
	hdcp_1 ~ hdcp_4, hdcp : HDCP 入力の許可 / 禁止 0 = DISABLE (禁止), 1 = ENABLE (許可) ※初期値	
実行例	@GHE,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 の HDCP 入力の許可 / 禁止設定を取得。
	@GHE,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	HDCP 入力を禁止する。
	@SHE,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 の HDCP 入力を禁止。
	@SHE,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

4.6.5 出力設定

@GEQ / @SEQ	出カイコライザ	
機能	取得	設定
書式	@GEQ, device, ch, port ↵	@SEQ, device, ch, port, level ↵
返り値	@GEQ, device, ch, port, level_1 (, level_2, level_3, level_4) ↵	@SEQ, device, ch, port, level ↵
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	level_1 ~ level_4, level : 補償量 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	@GEQ,2,1,1 ↵	チャンネル 1 の OUT1 の出カイコライザを取得。
	@GEQ,2,1,1,3 ↵	HIGH。
	@SEQ,2,1,1,3 ↵	チャンネル 1 の OUT1 の出カイコライザを HIGH に設定。
	@SEQ,2,1,1,3 ↵	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GDM / @SDM	出力モード	
機能	取得	設定
書式	@GDM, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SDM, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>
返り値	@GDM, device, ch, port, mode_1 (, mode_2, mode_3, mode_4) <input type="checkbox"/>	@SDM, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	mode_1 ~ mode_4, mode : 出力モード 1 = DVI 出力, 2 = RGB 出力, 3 = YCbCr4:2:2 出力, 4 = YCbCr4:4:4 出力 ※初期値	
実行例	@GDM,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の出力モードを取得。
	@GDM,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	RGB 出力。
	@SDM,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の出力モードを RGB 出力に設定。
	@SDM,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GEN / @SEN	HDCP 出力	
機能	取得	設定
書式	@GEN, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SEN, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
返り値	@GEN, device, ch, port, hdcp_1 (, hdcp_2, hdcp_3, hdcp_4) <input type="checkbox"/>	@SEN, device, ch, port, hdcp <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	hdcp_1 ~ hdcp_4, hdcp : HDCP 出力 1 = ALWAYS ※初期値, 2 = HDCP INPUT ONLY	
実行例	@GEN,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の HDCP 出力を取得。
	@GEN,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	ALWAYS。
	@SEN,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の HDCP 出力を HDCP INPUT ONLY に設定。
	@SEN,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@HAU	HDCP 再認証	
機能	設定	
書式	@HAU, device, ch, port <input type="checkbox"/>	
返り値	@HAU, device, ch, port <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
実行例	@HAU,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 に接続されたシンク機器の HDCP の再認証を実行。
	@HAU,2,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GUY / @SUY		映像信号無入力時の同期信号出力	
機能	取得	設定	
書式	@GUY, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SUY, device, ch, port, sync <input type="checkbox"/>	
返り値	@GUY, device, ch, port, sync_1 (, sync_2, sync_3, sync_4) <input type="checkbox"/>	@SUY, device, ch, port, sync <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。		
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	sync_1 ~ sync_4, sync : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値		
実行例	@GUY,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の映像信号無入力時の同期信号出力を取得。	
	@GUY,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	同期信号を出力する。	
	@SUY,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 は映像信号が入力されていない場合でも同期信号を出力する。	
	@SUY,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。		

@GBO / @SBO		映像信号無入力時の出力映像	
機能	取得	設定	
書式	@GBO, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SBO, device, ch, port, video <input type="checkbox"/>	
返り値	@GBO, device, ch, port, video_1 (, video_2, video_3, video_4) <input type="checkbox"/>	@SBO, device, ch, port, video <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。		
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4		
	video_1 ~ video_4, video : 映像信号無入力時の出力映像 0 = ブラック画面 ※NJR-T04HD の初期値 1 = ブルー画面 ※NJR-R04HD の初期値 2 = バックカラー画面		
実行例	@GBO,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の映像信号無入力時の出力映像を取得。	
	@GBO,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	ブルー画面を出力する。	
	@SBO,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 は映像信号が入力されていない場合にブルー画面を出力する。	
	@SBO,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	NJR-T04HD では @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が“0”に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。 映像信号無入力時の出力映像が“1”または“2”に設定されている場合に、 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が“0”に変更されると、映像信号無入力時の出力映像の設定が“0”になります。		

@GDC / @SDC	Deep Color 出力	
機能	取得	設定
書式	@GDC, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SDC, device, ch, port, color <input type="checkbox"/>
返り値	@GDC, device, ch, port, color_1 (, color_2, color_3, color_4) <input type="checkbox"/>	@SDC, device, ch, port, color <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	color_1 ~ color_4, color : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	@GDC,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の色深度を取得。
	@GDC,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	24-BIT COLOR。
	@SDC,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 は 24-BIT COLOR に設定。
	@SDC,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GVT / @SVT		映像タイプ選択	
機能	取得	設定	
書式	@GVT, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SVT, device, ch, reserved, type <input type="checkbox"/>	
返り値	@GVT, device, ch, reserved, type <input type="checkbox"/>	@SVT, device, ch, reserved, type <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。		
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	reserved : 予約 “1” 固定です。		
	type : 映像タイプ 0 = IN1~IN4 の合成 4K 映像 ※初期値, 1 = IN1 の入力映像 ~ 4 = IN4 の入力映像		
実行例	@GVT,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の映像タイプを取得。	
	@GVT,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	IN1~IN4 の合成 4K 映像を出力する。	
	@SVT,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 は IN1~IN4 の合成 4K 映像を出力する。	
	@SVT,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	<p>NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 (P.91) が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に変更されるか、または @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に変更されると、@GAP / @SAP アスペクト比 (P.31)、@GAR / @SAR アスペクト比復元処理 (P.32)、@GOV / @SOV オーバースキャン (P.33)、@GNP / @SNP 表示位置 (P.34)、@GNS / @SNS 表示サイズ (P.36)、@GNM / @SNM マスキング (P.38) の各設定が初期化され、@GTP / @STP テストパターン (P.42) の設定が “0” になります。</p> <p>また、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” に変更されると、@GBO / @SBO 映像信号無入力時の出力映像 (P.63) の設定が “0” になります。</p> <p>NJR-R04HD では使用できないコマンドです。</p>		

@GMT / @SMT	マトリクススイッチ	
機能	取得	設定
書式	@GMT, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SMT, device, ch, port, in_num <input type="checkbox"/>
返り値	@GMT, device, ch, port, in_num_1 (, in_num_2, in_num_3, in_num_4) <input type="checkbox"/>	@SMT, device, ch, port, in_num <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	in_num_1 ~ in_num_4, in_num : 出力コネクタに割り当てる入力番号 1 = 入力番号 1 ~ 4 = 入力番号 4 ※初期値 OUT1 は入力番号 1, OUT2 は入力番号 2, OUT3 は入力番号 3, OUT4 は入力番号 4	
実行例	@GMT,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 に割り当てられた入力番号を取得。
	@GMT,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	入力番号 1。
	@SMT,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 には入力番号 1 の映像を出力する。
	@SMT,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に設定されている場合のみ有効に機能します。 NJR-R04HD では送信器が NJR-T04HD で、 @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが “2” に設定されている場合のみ有効に機能します。	

@GSK / @SSK	基準同期信号	
機能	取得	設定
書式	@GSK, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SSK, device, ch, reserved, sync <input type="checkbox"/>
返り値	@GSK, device, ch, reserved, sync <input type="checkbox"/>	@SSK, device, ch, reserved, sync <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	reserved : 予約 “1” 固定です。	
	sync : 基準同期信号 0 = 自動判別 ※初期値, 1 = 内部同期信号/外部同期信号(マスター), 2 = 外部同期信号(スレーブ)	
実行例	@GSK,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の基準同期信号を取得。 内部同期信号/外部同期信号(マスター)。
	@GSK,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	
	@SSK,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の基準同期信号を内部同期 信号/外部同期信号(マスター)に設定。 正常終了。
	@SSK,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。 NJR-R04HD ではビデオウォールを構成する場合に最大で 5×5 までの同期が可能です。なお、同時にフレーム遅延を使用して映像同期が可能なのは縦 2 段までとなります。	

@GDL / @SDL		フレーム遅延
機能	取得	設定
書式	@GDL, device, ch, port [↵]	@SDL, device, ch, port, delay [↵]
返り値	@GDL, device, ch, port, delay_1 (, delay_2, delay_3, delay_4) [↵]	@SDL, device, ch, port, delay [↵]
パラメータ	<p>device : 機種種別 “2” 固定です。</p> <p>ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。</p> <p>port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4</p> <p>delay_1 ~ delay_4, delay : フレーム遅延量 0 = フレーム遅延なし, 1 = 1 フレーム遅延, 2 = 2 フレーム遅延 @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス (P.45) の表示モードが “0” または “2” の場合 : ※初期値 0 @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “1” かつ @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード (P.48) が “0” の場合 : ※初期値 OUT1 と OUT2 は 0、OUT3 と OUT4 は 1 @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “1” かつ @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード が “1” の場合 : ※初期値 1</p>	
実行例	@GDL,2,1,1 [↵] @GDL,2,1,1,1 [↵] @SDL,2,1,1,1 [↵] @SDL,2,1,1,1 [↵]	<p>チャンネル 1 の OUT1 のフレーム遅延量を取得。</p> <p>1 フレーム遅延する。</p> <p>チャンネル 1 の OUT1 のフレーム遅延量を 1 フレームに設定。</p> <p>正常終了。</p>
備考	<p>NJR-T04HD では使用できないコマンドです。</p> <p>NJR-R04HD では @GWA / @SWA 表示モードとビデオウォールのアドレス の表示モードが “1” かつ @GWD / @SWD ビデオウォール時のフレーム遅延設定モード が “1” の場合は、“1” 以上の同じ値に設定してください。</p>	

4.6.6 音声設定

@GAM / @SAM	デジタル音声出力のミュート	
機能	取得	設定
書式	@GAM, device, ch, port ↵	@SAM, device, ch, port, mute ↵
返り値	@GAM, device, ch, port, mute_1 (, mute_2, mute_3, mute_4) ↵	@SAM, device, ch, port, mute ↵
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	mute_1 ~ mute_4, mute : 音声ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	@GAM,1,1,1 ↵	NJR-T04HD のチャンネル 1 の OUT1 の音声ミュートを取得。
	@GAM,1,1,1,0 ↵	ミュート OFF。
	@SAM,1,1,1,0 ↵	NJR-T04HD のチャンネル 1 の OUT1 の音声ミュートを OFF に設定。
	@SAM,1,1,1,0 ↵	正常終了。
備考	-	

@GSL / @SSL	音声レベル	
機能	取得	設定
書式	@GSL, device, ch, port ↵	@SSL, device, ch, port, level ↵
返り値	@GSL, device, ch, port, level_1 (level_2, level_3, level_4) ↵	@SSL, device, ch, port, level ↵
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 0 = 全入力 / 全出力, 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4	
	level_1 ~ level_4, level : 音声レベル -60 ~ ±10 ※初期値 ±0	
実行例	@GSL,1,1,1 ↵	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の音声レベルを取得。
	@GSL,1,1,1,0 ↵	±0 dB。
	@SSL,1,1,1,0 ↵	NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の音声レベルを ±0 dB に設定。
	@SSL,1,1,1,0 ↵	正常終了。
備考	-	

@GAS / @SAS	合成 4K 時の音声入力選択	
機能	取得	設定
書式	@GAS, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SAS, device, ch, reserved, audio <input type="checkbox"/>
返り値	@GAS, device, ch, reserved, audio <input type="checkbox"/>	@SAS, device, ch, reserved, audio <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	reserved : 予約 “1” 固定です。	
	audio : 音声入力選択 0 = IN1~IN4 の各 2 チャンネルオーディオ ※初期値, 1 = IN1 の 8 チャンネルオーディオまたは圧縮オーディオ ~ 4 = IN4 の 8 チャンネルオーディオまたは圧縮オーディオ	
実行例	@GAS,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の合成 4K 時の音声入力選択を取得。
	@GAS,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	IN1 のオーディオを出力。
	@SAS,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 は合成 4K 時に IN1 のオーディオを出力する。
	@SAS,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “1” ~ “4” に設定されている場合は、設定コマンドを使用できません。 NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

@GLO / @SLO		リップシンク	
機能	取得	設定	
書式	@GLO, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SLO, device, ch, port, delay <input type="checkbox"/>	
返り値	@GLO, device, ch, port, delay_1 (, delay_2, delay_3, delay_4) <input type="checkbox"/>	@SLO, device, ch, port, delay <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。		
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 入力番号 0 = 全入力, 1 = 入力番号 1 ~ 4 = 入力番号 4		
	delay_1 ~ delay_4, delay : リップシンク 0 ~ 160 ※初期値 0		
実行例	@GLO,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の入力番号 1 のリップシンクを取得。	
	@GLO,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	0 ms。	
	@SLO,1,1,1,32 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の入力番号 1 のリップシンクを 32 ms に設定。	
	@SLO,1,1,1,32 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	<p>NJR-T04HD では使用できないコマンドです。</p> <p>NJR-R04HD では以下の条件の場合、4 系統とも同じ遅延量になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送信器が NJR-T01UHD の場合。 ・送信器が NJR-T04HD で、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “1” ~ “4” に設定されている場合。 ・送信器が NJR-T04HD で、@GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GAS / @SAS 合成 4K 時の音声入力選択 (P.71) が “1” ~ “4” に設定されている場合。 		

@GAT / @SAT		テストトーン出力	
機能	取得	設定	
書式	@GAT, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SAT, device, ch, port, test <input type="checkbox"/>	
返り値	@GAT, device, ch, port, test_1 (, test_2, test_3, test_4) <input type="checkbox"/>	@SAT, device, ch, port, test <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD		
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4 NJR-T04HD の場合、“1” 固定です。		
	test_1 ~ test_4, test : テストトーンの ON / OFF 0 = OFF ※初期値, 1 = ON		
実行例	@GAT,2,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の OUT1 のテストトーン出力を取得。	
	@GAT,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	テストトーンを出力する。	
	@SAT,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 の OUT1 からテストトーンを出力する。	
	@SAT,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	—		

@GAC / @SAC	テストトーンレベル／周波数	
機能	取得	設定
書式	@GAC, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SAC, device, ch, reserved, level, hfreq, lfreq, ch_1, ch_2, ch_3, ch_4, ch_5, ch_6, ch_7, ch_8 <input type="checkbox"/>
返り値	@GAC, device, ch, reserved, level, hfreq, lfreq, ch_1, ch_2, ch_3, ch_4, ch_5, ch_6, ch_7, ch_8 <input type="checkbox"/>	@SAC, device, ch, reserved, level, hfreq, lfreq, ch_1, ch_2, ch_3, ch_4, ch_5, ch_6, ch_7, ch_8 <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 reserved : 予約 “1” 固定です。 level : テストトーンのレベル 0 = -20 dBFS ※初期値, 1 = ±0 dBFS hfreq : テストトーンの HIGH 周波数 0 = 400 Hz, 1 = 1 kHz ※初期値 lfreq : テストトーンの LOW 周波数 0 = 30 Hz, 1 = 80 Hz ※初期値 ch_1 ~ ch_8 : 音声チャンネルごとの ON / OFF および周波数 0 = OFF, 1 = LOW, 2 = HIGH ※初期値 ch_1, ch_2, ch_4, ch_5, ch_6, ch_7, ch_8 : HIGH ch_3 : LOW	
実行例	@GAC,2,1,1 <input type="checkbox"/> @GAC,2,1,1,0,1,1,2,2,1,2,2,2,2 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 のテストトーンレベルと周波数を取得。 ・ レベル : -20 dBFS ・ HIGH 周波数 : 1 kHz ・ LOW 周波数 : 80 Hz ・ ch_1, ch_2, ch_4 ~ ch_8 : HIGH ・ ch_3 : LOW
	@SAC,2,1,1,0,1,1,2,2,1,2,2,2,2 <input type="checkbox"/>	NJR-R04HD のチャンネル 1 のテストトーンレベルと周波数を以下に設定。 ・ レベル : -20 dBFS ・ HIGH 周波数 : 1 kHz ・ LOW 周波数 : 80 Hz ・ ch_1, ch_2, ch_4 ~ ch_8 : HIGH ・ ch_3 : LOW
	@SAC,2,1,1,0,1,1,2,2,1,2,2,2,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	—	

4.6.7 EDID 設定

@GVF / @SVF	EDID の解像度	
機能	取得	設定
書式	@GVF, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SVF, device, ch, port, resolution <input type="checkbox"/>
返り値	@GVF, device, ch, port, resolution_1 (resolution_2, resolution_3, resolution_4) <input type="checkbox"/>	@SVF, device, ch, port, resolution <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4	
	resolution_1 ~ resolution_4, resolution : EDID の解像度 5 = 1080p@50 / 59.94 / 60 (1920x1080), ※初期値 6 = 720p@50 / 59.94 / 60 (1280x720), 7 = 1080i@50 / 59.94 / 60 (1920x1080), 10 = SVGA (800x600), 11 = XGA (1024x768), 13 = WXGA (1280x768), 14 = WXGA (1280x800), 15 = Quad-VGA (1280x960), 16 = SXGA (1280x1024), 17 = WXGA (1360x768/1366x768), 18 = SXGA+ (1400x1050), 19 = WXGA+ (1440x900), 20 = WXGA++ (1600x900), 21 = UXGA (1600x1200), 22 = WSXGA (1680x1050), 24 = WUXGA (1920x1200), 25 = QWXGA (2048x1152)	
実行例	@GVF,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 の EDID の解像度を取得。
	@GVF,1,1,1,24 <input type="checkbox"/>	WUXGA。
	@SVF,1,1,1,24 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の IN1 の EDID の解像度を WUXGA に設定。
	@SVF,1,1,1,24 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では 1360x768 と 1366x768 の EDID は @GWX / @SWX WXGA モード 選択 (P.76) で選択します。 NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

@GWX / @SWX		WXGA モード選択	
機能	取得		設定
書式	@GWX, device, ch, port <input type="checkbox"/>		@SWX, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>
返り値	@GWX, device, ch, port, mode_1 (, mode_2, mode_3, mode_4) <input type="checkbox"/>		@SWX, device, ch, port, mode <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。		
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4		
	mode_1 ~ mode_4, mode : WXGA モード選択 0 = 1360x768 ※初期値, 1 = 1366x768		
実行例	@GWX,1,1,1 <input type="checkbox"/>		チャンネル 1 の IN1 の WXGA モードを取得。
	@GWX,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>		1360x768。
	@SWX,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>		チャンネル 1 の IN1 の WXGA モードを 1360x768 に設定。
	@SWX,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>		正常終了。
備考	NJR-R04HD では使用できないコマンドです。		

@GDI / @SDI	Deep Color 入力	
機能	取得	設定
書式	@GDI, device, ch, port <input type="button" value="↵"/>	@SDI, device, ch, port, color <input type="button" value="↵"/>
返り値	@GDI, device, ch, port, color_1 (, color_2, color_3, color_4) <input type="button" value="↵"/>	@SDI, device, ch, port, color <input type="button" value="↵"/>
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4	
	color_1 ~ color_4, color : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	@GDI,1,1,1 <input type="button" value="↵"/>	チャンネル 1 の IN1 の色深度を取得。
	@GDI,1,1,1,0 <input type="button" value="↵"/>	24-BIT COLOR。
	@SDI,1,1,1,0 <input type="button" value="↵"/>	チャンネル 1 の IN1 の色深度を 24-BIT COLOR に設定。
	@SDI,1,1,1,0 <input type="button" value="↵"/>	正常終了。
備考	NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

@GAF / @SAF	音声フォーマット																
機能	取得	設定															
書式	@GAF, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SAF, device, ch, port, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) <input type="checkbox"/>															
返り値	@GAF, device, ch, port, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) <input type="checkbox"/>	@SAF, device, ch, port, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) <input type="checkbox"/>															
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。																
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。																
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4 “全入力” は、設定コマンドのみ指定することができます。																
	format_1 ~ format_7 : 音声フォーマット 0 = PCM, 1 = AC-3 / Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD ※初期値 PCM のみ出力許可																
	frequency_1 ~ frequency_7 : 最大サンプリング周波数 0 = OFF, 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 DTS-HD は 192 kHz、Dolby TrueHD は 96 kHz、それ以外は 48 kHz “OFF” は、設定コマンドのみ指定することができます。 指定可能な最大サンプリング周波数は、音声フォーマットにより異なります。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>最大サンプリング周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCM</td> <td>32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>AC-3 / Dolby Digital</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> </tbody> </table>		音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)	PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	AC-3 / Dolby Digital	OFF / 32 / 44.1 / 48	AAC	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96	Dolby Digital+	OFF / 32 / 44.1 / 48	DTS	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96	DTS-HD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby TrueHD
音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)																
PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																
AC-3 / Dolby Digital	OFF / 32 / 44.1 / 48																
AAC	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96																
Dolby Digital+	OFF / 32 / 44.1 / 48																
DTS	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96																
DTS-HD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																
Dolby TrueHD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																
取得コマンドの場合、出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプリング周波数を返信します。 設定コマンドの場合、出力を許可する音声フォーマットと最大サンプリング周波数を指定します。 出力を許可する音声フォーマットのみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった音声フォーマットについては自動的にすべて“OFF”に設定されるため、通常は“OFF”のパラメータを指定する必要はありません。また、PCM は必ず許可されるので、最大サンプリング周波数を変更する必要がなければ省略可能です。																	

@GAF / @SAF	音声フォーマット (つづき)	
実行例	@GAF,1,1,1  @GAF,1,1,1,0,7 	チャンネル 1 の IN1 に出力許可されている音声フォーマットを取得。 PCM の 192 kHz までの音声出力が許可されている。
	@SAF,1,1,1,4,3  @SAF,1,1,1,4,3 	チャンネル 1 の IN1 の PCM および DTS の 48 kHz までの音声を出力許可。 (PCM の最大サンプリング周波数は変更されません) 正常終了。
備考	NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

@GSP / @SSP	スピーカー構成																																																																																																																								
機能	取得	設定																																																																																																																							
書式	@GSP, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SSP, device, ch, port, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																							
返り値	@GSP, device, ch, port, number, speaker_1 (, speaker_2...) <input type="checkbox"/>	@SSP, device, ch, port, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																							
パラメータ	device : 機種種別 “1” 固定です。																																																																																																																								
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-T04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。																																																																																																																								
	port : 入力コネクタ 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 4 = IN4 “全入力” は、設定コマンドのみ指定することができます。																																																																																																																								
	number : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2																																																																																																																								
	speaker_1 ~ speaker_8 : 使用するスピーカー 0 = Front Left / Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left / Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left / Right Center, 6 = Rear Left / Right Center, 7 = Front Left / Right Wide, 8 = Front Left / Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High																																																																																																																								
<p>取得コマンドの場合、スピーカー数と使用するスピーカーを返信します。 設定コマンドの場合、使用するスピーカーを省略すると、スピーカー数の設定に応じて以下のように設定されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">number</th> <th colspan="11">speaker</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table> <p>使用するスピーカーを指定したときに、スピーカー数と使用するスピーカーの合計が一致しない場合は、使用するスピーカーから自動的にスピーカー数を設定します。万一、スピーカー数が設定可能な範囲を超えている場合はエラーになります。</p>			number	speaker											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																											
number	speaker																																																																																																																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																														
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																				
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																				
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																														

@GSP / @SSP	スピーカー数 (つづき)	
実行例	@GSP,1,1,1 	チャンネル 1 の IN1 のスピーカー構成を取得。
	@GSP,1,1,1,6,0,1,2,3 	Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right の 6 個のスピーカーを使用している。
	@SSP,1,1,1,8 	チャンネル 1 の IN1 のスピーカー構成を Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right, Rear Left / Right Center の 8 個に設定。
	@SSP,1,1,1,8  @SSP,1,1,1,8,0,3,5,6,7  @ERR,1 	正常終了。 チャンネル 1 の IN1 のスピーカー構成を Front Left / Right, Rear Left / Right, Front Left / Right Center, Rear Left / Right Center, Front Left / Right Wide に設定。スピーカー数の合計が 10 個になり、設定可能な数を超えている。
備考	NJR-R04HD では使用できないコマンドです。	

4.6.8 テロップ設定

@GTO / @STO	テロップ設定	
機能	取得	設定
書式	@GTO, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@STO, device, ch, port, out_telop, in_telop <input type="checkbox"/>
返り値	@GTO, device, ch, port, out_telop, in_telop <input type="checkbox"/>	@STO, device, ch, port, out_telop, in_telop <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	out_telop : 出力番号表示 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
	in_telop : 入力番号表示 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	@GTO,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ表示設定を取得。
	@GTO,2,1,1,0,1 <input type="checkbox"/>	出力番号は表示しない、入力番号は表示する。
	@STO,2,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップに、出力番号は表示しない、入力番号は表示する。
	@STO,2,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GTB / @STB	テロップ背景色	
機能	取得	設定
書式	@GTB, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@STB, device, ch, port, red, green, blue, transparent <input type="checkbox"/>
返り値	@GTB, device, ch, port, red, green, blue, transparent <input type="checkbox"/>	@STB, device, ch, port, red, green, blue, transparent <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	red : 背景色 (赤) green : 背景色 (緑) blue : 背景色 (青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
	transparent : 透過設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	@GTB,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ背景色を取得。
	@GTB,2,1,1,255,0,0,0 <input type="checkbox"/>	R=255, G=0, B=0 (背景色は赤)で透過しない。
	@STB,2,1,1,0,255,0,0 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ背景色は、R=0, G=255, B=0 (背景色は緑)で透過しない。
	@STB,2,1,1,0,255,0,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GTC / @STC	テロップ文字色	
機能	取得	設定
書式	@GTC, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@STC, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>
返り値	@GTC, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@STC, device, ch, port, red, green, blue <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	red : 文字色 (赤) green : 文字色 (緑) blue : 文字色 (青) 0 ~ 255 ※初期値 255	
実行例	@GTC,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ文字色を取得。
	@GTC,2,1,1,0,0,0 <input type="checkbox"/>	R=0, G=0, B=0 (文字色は黒)。
	@STC,2,1,1,255,255,255 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ文字色を、R=255, G=255, B=255 (背景色は白) に設定。
	@STC,2,1,1,255,255,255 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GFS / @SFS	テロップ文字サイズ	
機能	取得	設定
書式	@GFS, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@SFS, device, ch, port, size <input type="checkbox"/>
返り値	@GFS, device, ch, port, size <input type="checkbox"/>	@SFS, device, ch, port, size <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	size : 文字サイズ 0 = 12×12, 1 = 24×24 ※初期値	
実行例	@GFS,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ文字サイズを取得。
	@GFS,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	24×24。
	@SFS,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ文字サイズを、12×12 に設定。
	@SFS,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GTA / @STA	テロップ表示位置	
機能	取得	設定
書式	@GTA, device, ch, port <input type="checkbox"/>	@STA, device, ch, port, position <input type="checkbox"/>
返り値	@GTA, device, ch, port, position <input type="checkbox"/>	@STA, device, ch, port, position <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	position : 表示位置 0 = TOP-LEFT ※初期値, 1 = TOP-CENTER, 2 = TOP-RIGHT, 3 = BOTTOM-LEFT, 4 = BOTTOM-CENTER, 5 = BOTTOM-RIGHT	
実行例	@GTA,2,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ表示位置を取得。
	@GTA,2,1,1,0 <input type="checkbox"/>	TOP-LEFT。
	@STA,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 のテロップ表示位置を、TOP-RIGHT に設定。
	@STA,2,1,1,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

@GTN / @STN	テロップ表示内容	
機能	取得	設定
書式	@GTN, device, ch, port, type <input type="checkbox"/>	@STN, device, ch, port, type, telop <input type="checkbox"/>
返り値	@GTN, device, ch, port, type, telop <input type="checkbox"/>	@STN, device, ch, port, type, telop <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。	
	ch : 入力チャンネル 1 ~ 512 = 入力チャンネル 1 ~ 入力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。	
	port : 出力コネクタ 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4	
	type : 種別 0 = 入力番号と出力番号, 1 = 入力番号, 2 = 出力番号 “入力番号と出力番号” は、取得コマンドのみ指定することができます。	
	telop : 表示内容 ASCII コードの、20 ~ 7D で 2C、2F 以外の中から最大 10 文字まで ※初期値 入力番号 = IN1 ~ IN4, 出力番号 = OUT1 ~ OUT4	
実行例	@GTN,2,1,1,1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の入力番号の表示内容を取得。
	@GTN,2,1,1,1,IN1 <input type="checkbox"/>	IN1。
	@STN,2,1,1,2,OUT1 <input type="checkbox"/>	チャンネル 1 の OUT1 の出力番号のテロップに、“OUT1” と表示する。
	@STN,2,1,1,2,OUT1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。	

4.6.9 RS-232C 設定

@GCTB / @SCTB	RS-232C 通信設定	
機能	取得	設定
書式	@GCTB, device, ch, reserved ↴	@SCTB, device, ch, reserved, baudrate, databit, stopbit, parity ↴
返り値	@GCTB, device, ch, reserved, baudrate, databit, stopbit, parity ↴	@SCTB, device, ch, reserved, baudrate, databit, stopbit, parity ↴
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512	
	reserved : 予約 "1" 固定です。	
	baudrate : 通信速度 0 = 4800 bps, 1 = 9600 bps ※初期値, 2 = 19200 bps, 3 = 38400 bps, 4 = 57600 bps, 5 = 115200 bps	
	databit : データビット長 7 = 7 bit, 8 = 8 bit ※初期値	
	stopbit : ストップビット 1 = 1 bit ※初期値, 2 = 2 bit	
	parity : パリティチェック 0 = NONE (なし) ※初期値, 1 = ODD (奇数), 2 = EVEN (偶数)	
実行例	@GCTB,1,1,1 ↴	NJR-T04HD のチャンネル 1 の RS-232C 通信設定を取得。
	@GCTB,1,1,1,4,8,1,0 ↴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信速度 : 57600 bps ・ データビット長 : 8 bit ・ ストップビット : 1 bit ・ パリティチェック : NONE (なし)
	@SCTB,1,1,1,4,8,1,0 ↴	NJR-T04HD のチャンネル 1 の RS-232C 通信設定を以下のように設定。
	@SCTB,1,1,1,4,8,1,0 ↴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信速度 : 57600 bps ・ データビット長 : 8 bit ・ ストップビット : 1 bit ・ パリティチェック : NONE (なし) 正常終了。
備考	NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。	

4.6.10 LAN 設定

@GIP / @SIP	LAN 設定	
機能	取得	設定
書式	@GIP, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SIP, device, ch, reserved, mode, ip, mask, gateway <input type="checkbox"/>
返り値	@GIP, device, ch, reserved, mode, ip, mask, gateway <input type="checkbox"/>	@SIP, device, ch, reserved, mode, ip, mask, gateway <input type="checkbox"/>
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512	
	reserved : 予約 “1” 固定です。	
	mode : モード 0 = 自動 (DHCP) ※初期値, 1 = 固定 設定コマンドで“自動 (DHCP)”に設定した場合、以降のパラメータは無効になります。	
	ip : IP アドレス 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) × 4 組 ※初期値 自動取得	
	mask : サブネットマスク 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) × 4 組 ※初期値 自動取得	
	gateway : デフォルトゲートウェイ 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) × 4 組 ※初期値 自動取得	
実行例	@GIP,1,1,1 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の LAN 設定を取得。
	@GIP,1,1,1,1,192.168.3.2,255.255.255.0,192.168.3.254 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・モード : 固定 ・IP アドレス : 192.168.3.2 ・サブネットマスク : 255.255.255.0 ・デフォルトゲートウェイ : 192.168.3.254
	@SIP,1,1,1,1,192.168.3.2,255.255.255.0,192.168.3.254 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の LAN 設定を以下のように設定。
	@SIP,1,1,1,1,192.168.3.2,255.255.255.0,192.168.3.254 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・モード : 固定 ・IP アドレス : 192.168.3.2 ・サブネットマスク : 255.255.255.0 ・デフォルトゲートウェイ : 192.168.3.254 正常終了。
備考	NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。 LAN 通信設定が変更された場合、以後通信不可となる場合があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GMC	MAC アドレス	
機能	取得	
書式	@GMC, device, ch, reserved [↵]	
返り値	@GMC, device, ch, reserved, mac [↵]	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512	
	reserved : 予約 “1” 固定です。	
	mac : MAC アドレス 00 ~ FF = 8 ビット (16 進数表記) × 6 組	
実行例	@GMC,1,1,1 [↵]	NJR-T04HD のチャンネル 1 の MAC アドレスを取得。
	@GMC,1,1,1, D88039A6D9DF [↵]	D8:80:39:A6:D9:DF。
備考	NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。	

4.6.11 その他設定

@GSY / @SSY		接続機器選択	
機能	取得	設定	
書式	@GSY, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	@SSY, device, ch, reserved, type <input type="checkbox"/>	
返り値	@GSY, device, ch, reserved, type <input type="checkbox"/>	@SSY, device, ch, reserved, type <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD		
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。		
	reserved : 予約 “1” 固定です。		
	type : 接続機器 0 = 接続機器は NJR-T04HD と NJR-R04HD のみ ※初期値, 1 = 接続機器に NJR-T01UHD または NJR-R01UHD を含む NJR-T01UHD と NJR-R04HD を 1:1 で接続、または、 NJR-T04HD と NJR-R01UHD を 1:1 で接続する場合は、“1” に設定します。		
実行例	@GSY,1,1,1 <input type="checkbox"/> @GSY,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	接続機器を取得。 接続機器は NJR-T04HD と NJR-R04HD のみ。	
	@SSY,1,1,1,1 <input type="checkbox"/> @SSY,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	接続機器に NJR-T01UHD または NJR-R01UHD を含む。 正常終了。	
備考	NJR-T04HD では @GSY / @SSY 接続機器選択 が “1” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 (P.65) が “0” に変更されるか、または @GSY / @SSY 接続機器選択 が “0” かつ @GVT / @SVT 映像タイプ選択 が “0” かつ @GTW / @STW 映像合成モード (P.49) が “1” に変更されると、@GAP / @SAP アスペクト比 (P.31)、@GAR / @SAR アスペクト比復元処理 (P.32)、@GOV / @SOV オーバースキャン (P.33)、@GNP / @SNP 表示位置 (P.34)、@GNS / @SNS 表示サイズ (P.36)、@GNM / @SNM マスキング (P.38) の各設定が初期化され、@GTP / @STP テストパターン (P.42) の設定が “0” になります。 また、@GSY / @SSY 接続機器選択 が “1” に変更されると、@GBR / @SBR ブライトネス (P.50)、@GCO / @SCO コントラスト (P.51)、@GHU / @SHU 色相 (P.52)、@GST / @SST 彩度 (P.53)、@GFL / @SFL シャープネス (P.54)、@GGM / @SGM ガンマ (P.55) の各設定が初期化されます。		

@CLRC	設定の初期化	
機能	設定	
書式	@CLRC, device, ch, reserved, com_setting 	
返り値	@CLRC, device, ch, reserved, com_setting 	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 0 = 全チャンネル, 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512	
	reserved : 予約 "1" 固定です。	
	com_setting : 通信設定 (LAN, RS-232C の初期化) 0 = 無効(通信設定以外を初期化)、1 = 有効(通信設定も含め初期化)	
実行例	@CLRC,1,2,1,0  @CLRC,1,2,1,0 	NJR-T04HD の入力チャンネル 2 の設定を通信設定以外、工場出荷設定に初期化。 正常終了。
備考	NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。 4.6.2 画角設定 (P.27) ~ 4.6.11 その他設定 (P.91) の各設定が初期化されます。	

@RBTC	再起動	
機能	設定	
書式	@RBTC, device, ch, reserved 	
返り値	@RBTC, device, ch, reserved 	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD	
	ch : チャンネル 0 = 全チャンネル, 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512	
	reserved : 予約 "1" 固定です。	
実行例	@RBTC,1,1,1  @RBTC,1,1,1 	NJR-T04HD のチャンネル 1 を再起動。 正常終了。
備考	NJR-CTB のコマンドサーバー経由でのみ入力できるコマンドです。	

4.6.12 インフォメーション

@GSS	入出カステータス																
機能	取得																
書式	@GSS, device, ch, port, mode [↵]																
返り値	@GSS, device, ch, port, mode, status_1 (, status_2, status_3...) [↵]																
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD																
	ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。																
	port : 入力コネクタ / 出力コネクタ 1 = IN1 / OUT1 ~ 4 = IN4 / OUT4																
	mode : 取得するステータス NJR-T04HD の場合 0 = 1 ~ 4 のすべて, 1 = 入力信号の種類 ^{※1} , 2 = 映像入力信号のフォーマット ^{※2} , 3 = 音声入力信号のフォーマット ^{※3} , 4 = HDCP 入力の有無 ^{※4} NJR-R04HD の場合 10 = 11 ~ 13 のすべて, 11 = HDCP の認証状態 ^{※5} , 12 = 出力信号の種類 ^{※6} , 13 = エラーコード ^{※7}																
	status_1 ~ status_4 : ステータス																
<p>※1 入力信号の種類は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>HDMI 信号が入力されています。24 は色深度です。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 映像入力信号のフォーマットは以下のように返信します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV / HDTV 信号が入力されおり、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>800 x 600 60.00Hz</td> <td>VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>		返信	入力信号の種類	H24	HDMI 信号が入力されています。24 は色深度です。	D	DVI 信号が入力されています。	N	信号が入力されていません。	返信例	映像入力信号のフォーマット	1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV 信号が入力されおり、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。	800 x 600 60.00Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。	NO SIGNAL	信号が入力されていません。
返信	入力信号の種類																
H24	HDMI 信号が入力されています。24 は色深度です。																
D	DVI 信号が入力されています。																
N	信号が入力されていません。																
返信例	映像入力信号のフォーマット																
1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV 信号が入力されおり、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。																
800 x 600 60.00Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。																
NO SIGNAL	信号が入力されていません。																

@GSS	入出カステータス (つづき)																																								
パラメータ	<p>※3 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 275 1410 667"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz</td> <td>リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)</td> <td>マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります)。</td> </tr> <tr> <td>NO AUDIO</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 HDCP 入力の有無は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 745 1410 913"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP 1.4 ON</td> <td>HDCP 1.4 の付加された信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP OFF</td> <td>HDCP の付加されていない信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5 HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 992 1410 1384"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>HDCP の認証状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP 1.4 SUPPORT</td> <td>HDCP 1.4 で認証を行いました。</td> </tr> <tr> <td>HDCP NOT SUPPORT</td> <td>HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP ERROR</td> <td>HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>HDCP CHECK NOW</td> <td>シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※6 出力信号の種類は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 1462 1410 1709"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>出力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号を出力しています。xx は色深度で 24、30 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号を出力しています。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>HDCP の認証中です。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	音声入力信号のフォーマット	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります)。	NO AUDIO	信号が入力されていません。	返信	入力信号の種類	HDCP 1.4 ON	HDCP 1.4 の付加された信号が入力されています。	HDCP OFF	HDCP の付加されていない信号が入力されています。	NO SIGNAL	信号が入力されていません。	返信例	HDCP の認証状態	HDCP 1.4 SUPPORT	HDCP 1.4 で認証を行いました。	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。	HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。	HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。	返信	出力信号の種類	Hxx	HDMI 信号を出力しています。xx は色深度で 24、30 のいずれかになります。	D	DVI 信号を出力しています。	C	HDCP の認証中です。	N	シンク機器が接続されていません。
返信例	音声入力信号のフォーマット																																								
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。																																								
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。																																								
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります)。																																								
NO AUDIO	信号が入力されていません。																																								
返信	入力信号の種類																																								
HDCP 1.4 ON	HDCP 1.4 の付加された信号が入力されています。																																								
HDCP OFF	HDCP の付加されていない信号が入力されています。																																								
NO SIGNAL	信号が入力されていません。																																								
返信例	HDCP の認証状態																																								
HDCP 1.4 SUPPORT	HDCP 1.4 で認証を行いました。																																								
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。																																								
HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。																																								
HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。																																								
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。																																								
返信	出力信号の種類																																								
Hxx	HDMI 信号を出力しています。xx は色深度で 24、30 のいずれかになります。																																								
D	DVI 信号を出力しています。																																								
C	HDCP の認証中です。																																								
N	シンク機器が接続されていません。																																								

@GSS	入出カステータス (つづき)																																								
パラメータ	<p>※7 HDMI 出力コネクタの状態を、映像出力、音声出力の順に返信します。 エラーコードは以下のいずれかになります。</p> <table border="1" data-bbox="443 309 1412 1294"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 309 598 389">エラーコード</th> <th data-bbox="603 309 991 389">映像出力の状態</th> <th data-bbox="995 309 1412 389">音声出力の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 396 598 470">0</td> <td data-bbox="603 396 991 470">正常に映像が出力されています。</td> <td data-bbox="995 396 1412 470">正常に音声出力されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 477 598 589">1</td> <td data-bbox="603 477 991 589">-</td> <td data-bbox="995 477 1412 589">@GAM / @SAM デジタル音声出力のミュート (P.69) が “ON” に設定されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 595 598 624">2</td> <td colspan="2" data-bbox="603 595 1412 624">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 631 598 705">3</td> <td data-bbox="603 631 991 705">映像信号が入力されていません。</td> <td data-bbox="995 631 1412 705">音声信号が入力されていません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 712 598 741">4</td> <td colspan="2" data-bbox="603 712 1412 741">ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 748 598 822">5</td> <td colspan="2" data-bbox="603 748 1412 822">HDCP の付加された信号が入力されているが、シンク機器が HDCP に対応していません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 828 598 902">6</td> <td colspan="2" data-bbox="603 828 1412 902">映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 909 598 1021">7</td> <td data-bbox="603 909 991 1021">本機が対応していない信号が入力されています。</td> <td data-bbox="995 909 1412 1021">圧縮音声が入力されているため音声出力することができません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1028 598 1178">9</td> <td data-bbox="603 1028 991 1178">-</td> <td data-bbox="995 1028 1412 1178">@GDM / @SDM 出力モード (P.60) が “DVI 出力” に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1184 598 1214">B</td> <td colspan="2" data-bbox="603 1184 1412 1214">シンク機器が接続されていません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1220 598 1249">C</td> <td colspan="2" data-bbox="603 1220 1412 1249">HDCP の認証中です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1256 598 1285">D</td> <td colspan="2" data-bbox="603 1256 1412 1285">HDCP の認証に失敗しました。</td> </tr> </tbody> </table>		エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態	0	正常に映像が出力されています。	正常に音声出力されています。	1	-	@GAM / @SAM デジタル音声出力のミュート (P.69) が “ON” に設定されています。	2	-		3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。	4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。		5	HDCP の付加された信号が入力されているが、シンク機器が HDCP に対応していません。		6	映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。		7	本機が対応していない信号が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声出力することができません。	9	-	@GDM / @SDM 出力モード (P.60) が “DVI 出力” に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。	B	シンク機器が接続されていません。		C	HDCP の認証中です。		D	HDCP の認証に失敗しました。	
エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態																																							
0	正常に映像が出力されています。	正常に音声出力されています。																																							
1	-	@GAM / @SAM デジタル音声出力のミュート (P.69) が “ON” に設定されています。																																							
2	-																																								
3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。																																							
4	ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。																																								
5	HDCP の付加された信号が入力されているが、シンク機器が HDCP に対応していません。																																								
6	映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。																																								
7	本機が対応していない信号が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声出力することができません。																																							
9	-	@GDM / @SDM 出力モード (P.60) が “DVI 出力” に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。																																							
B	シンク機器が接続されていません。																																								
C	HDCP の認証中です。																																								
D	HDCP の認証に失敗しました。																																								
実行例	<p>@GSS,1,1,1,0 </p> <p>@GSS,1,1,1,0,H24,1080p 60Hz, LINEAR PCM 48kHz, HDCP 1.4 ON </p>	<p>NJR-T04HD のチャンネル 1 の IN1 の全入出カステータスを取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力信号の種類：24-BIT COLOR の HDMI 信号 ・映像入力信号：1080p 60Hz ・音声入力信号：LINEAR PCM 48kHz ・HDCP：1.4 																																							
	<p>@GSS,2,1,1,10 </p> <p>@GSS,2,1,1,10,HDCP 1.4 SUPPORT, H30,00 </p>	<p>NJR-R04HD のチャンネル 1 の OUT1 の全入出カステータスを取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDCP の認証：HDCP 1.4 で認証を行なった ・出力信号の種類：30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・エラーコード：映像・音声ともに正常に出力されている。 																																							
備考	-																																								

@GES	モニタ EDID 情報								
機能	取得								
書式	@GES, device, ch, port, mode [↵]								
返り値	@GES, device, ch, port, mode, status_1 (, status_2, status_3...) [↵]								
パラメータ	device : 機種種別 “2” 固定です。								
	ch : 出力チャンネル 1 ~ 512 = 出力チャンネル 1 ~ 出力チャンネル 512 NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。								
	port : 出力コネクタ 1 = OUT1 ~ 4 = OUT4								
	mode : 取得するステータス 0 = 1~4 のすべて, 1 = モニタ名 ^{※1} , 2 = 解像度とピクセルクロック ^{※2} , 3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度 ^{※3} , 4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況 ^{※4}								
	status_1 ~ status_4 : ステータス ※1 モニタ名は以下のように返信します。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>モニタ名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MSD-5402</td> <td>“MSD-5402” という名前のシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>EDID READ ERROR</td> <td>EDID の読み出しに失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>		返信例	モニタ名	MSD-5402	“MSD-5402” という名前のシンク機器が接続されています。	EDID READ ERROR	EDID の読み出しに失敗しました。	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。
返信例	モニタ名								
MSD-5402	“MSD-5402” という名前のシンク機器が接続されています。								
EDID READ ERROR	EDID の読み出しに失敗しました。								
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。								
※2 解像度とピクセルクロックは以下のように返信します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>解像度／ピクセルクロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1920x1080 148.50MHz</td> <td>解像度は 1920x1080、ピクセルクロックは 148.50MHz に対応したシンク機器が接続されています。</td> </tr> </tbody> </table>		返信例	解像度／ピクセルクロック	1920x1080 148.50MHz	解像度は 1920x1080、ピクセルクロックは 148.50MHz に対応したシンク機器が接続されています。				
返信例	解像度／ピクセルクロック								
1920x1080 148.50MHz	解像度は 1920x1080、ピクセルクロックは 148.50MHz に対応したシンク機器が接続されています。								
※3 HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度は以下のように返信します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVI</td> <td>HDMI 信号に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDMI- RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24/30BIT COLOR</td> <td>HDMI 信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを / で区切って返信) - 色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。</td> </tr> </tbody> </table>		返信	入力信号の種類	DVI	HDMI 信号に対応していないシンク機器が接続されています。	HDMI- RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24/30BIT COLOR	HDMI 信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを / で区切って返信) - 色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。		
返信	入力信号の種類								
DVI	HDMI 信号に対応していないシンク機器が接続されています。								
HDMI- RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24/30BIT COLOR	HDMI 信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング構造 (RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを / で区切って返信) - 色深度 (24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信) の順で返信します。								

@GES	モニタ EDID 情報 (つづき)							
パラメータ	※4 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況は以下のように返信します。							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AUDIO NOT SUPPORT</td> <td>音声信号に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM-32/44.1/48kHz-16/20/24BIT-8CHANNEL</td> <td>音声信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信) - ビット数 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信) - チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか) - 圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	AUDIO NOT SUPPORT	音声信号に対応していないシンク機器が接続されています。	LINEAR PCM-32/44.1/48kHz-16/20/24BIT-8CHANNEL	音声信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信) - ビット数 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信) - チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか) - 圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。	
返信	入力信号の種類							
AUDIO NOT SUPPORT	音声信号に対応していないシンク機器が接続されています。							
LINEAR PCM-32/44.1/48kHz-16/20/24BIT-8CHANNEL	音声信号に対応したシンク機器が接続されており、対応しているサンプリング周波数 (32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信) - ビット数 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信) - チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか) - 圧縮音声に対応していれば “COMPRESSED AUDIO SUPPORT” の順で返信します。							
実行例	@GES,2,1,1,0 <input type="checkbox"/> @GES,2,1,1,0,MSD-702,1920x1080 148.50MHz,DVI,AUDIO NOT SUPPORT <input type="checkbox"/>	チャンネル1のOUT1に接続されたシンク機器のEDID情報を取得。 ・モニタ名 : MSD-702 ・解像度 : 1920x1080 ・ピクセルクロック : 148.50MHz ・HDMI : 非対応 ・音声 : 非対応						
備考	NJR-T04HD では使用できないコマンドです。							

@GIV	バージョン情報	
機能	取得	
書式	@GIV, device, ch, reserved <input type="checkbox"/>	
返り値	@GIV, device, ch, reserved, id, ver <input type="checkbox"/>	
パラメータ	device : 機種種別 1 = NJR-T04HD, 2 = NJR-R04HD ch : チャンネル 1 ~ 512 = チャンネル 1 ~ チャンネル 512 NJR-T04HD / NJR-R04HD の RS-232C コネクタからコマンドを入力する場合、および LAN 通信を使った IP-NINJAR Configurator (IP-NINJAR 専用設定ソフトウェア) からコマンドを入力する場合、“1” 固定です。 reserved : 予約 “1” 固定です。 id : 製品型番 ver : ファームウェアバージョン	
実行例	@GIV,1,1,1 <input type="checkbox"/> @GIV,1,1,1,NJR-T04HD,1.10 <input type="checkbox"/>	NJR-T04HD のチャンネル 1 の製品情報を取得。 ・製品型番 : NJR-T04HD ・ファームウェアバージョン : 1.10
備考	-	

NJR-T04HD / NJR-R04HD 取扱説明書

<コマンドガイド>

Ver.1.6.0

発行日 2020年02月07日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp ホームページ <http://www.idk.co.jp/>